

令和3年度

事業概要

目 次

I 事業実施状況

1 災害救護	1
2 救急法等の講習	7
3 赤十字奉仕団	12
4 青少年赤十字	15
5 医療事業及び医療社会事業	19
6 社会福祉活動	25
7 血液事業	28
8 国際活動	32
9 看護師養成	33
10 赤十字思想の普及、広報活動の充実	34
11 会員増強運動	38
12 日本赤十字社埼玉県有功会	43
13 評議員会	45

II 会計報告

1 一般会計	46
2 特別会計	47

III 資料

1 埼玉県支部役職員名簿	51
2 災害救護資材配備状況	53
3 救援物資・弔慰金内訳	58
4 臨時救護実施状況	60
5 救急法・健康生活支援講習等講習会実施状況	61
6 赤十字奉仕団結成状況及び団員数	65
7 赤十字奉仕団埼玉県支部委員会名簿	67
8 青少年赤十字加盟校一覧	68
9 地区・分区活動資金募集実績額	76
10 活動資金募集内訳表	79
11 特別社員受章者	82
12 一日赤十字実施状況	82

I 事業実施状況

1 災害救護

災害救護活動は日本赤十字社の最も重要な事業のひとつであり、社会から求められる大きな使命である。そのため、災害時に備えて常備医療救護班10個班(1個班標準6人編成)、血液供給要員及び災害対策本部要員を救護員として181人を登録し、救護訓練や研修を実施して研鑽に努めるなど、救護体制に万全を期している。

その他、救護装備等の充足整備、被災者への救援物資配分、弔慰金の贈与、義援金の受付など、それぞれの災害の規模や状況に即して柔軟に幅の広い対応を行っている。

(1) 災害救護活動

派遣実績なし

(2) 災害救護訓練

災害時に迅速な救護活動ができるよう次の訓練を行った。

名称	日程	開催場所等	参加人数等
第42回九都県市合同防災訓練 (さいたま市会場) ※市主催	11月 6日	荒川総合運動公園 (さいたま市桜区)	さいたま日赤救護班 1班 支部職員 4人
日本赤十字社本社・第2ブロック 支部災害救護訓練	11月20日	栃木県支部	さいたま日赤救護班 1班 支部職員 4人
日本赤十字社埼玉県支部災害救護 訓練(中止)	—	—	—
埼玉県特別機動援助隊 (埼玉SMART)合同訓練 ※県主催	2月 9日	越谷市	さいたま日赤 7人
埼玉県特別機動援助隊 (埼玉SMART)DMATホイスト 降下訓練 ※県主催	7月 9日	埼玉県防災航空 センター	さいたま日赤 4人 深谷日赤 4人
日本赤十字社第2ブロック支部 先遣要員訓練	1月26日	オンライン	支部職員 2人
日本赤十字社第2ブロック被災地 支部災害対策本部運営・支援訓練 (中止)	3月-4日	神奈川県支部	—
支部災害対策本部訓練	3月14日	埼玉県支部	支部職員 23人

その他:広域災害救急医療情報システム(EMIS)入力訓練等

(3) 災害救護関係研修・会議

災害救護業務の推進及び知識・技術の向上を図るため、各種研修会や会議を開催した。

ア 研修会

名称	日程	開催場所等	参加人数等
日本赤十字社埼玉県支部 救護班要員研修会	10月27～29日	ヘリテイジ美の山 (皆野町)	管内施設職員 57名 支部職員 9名
全国赤十字救護班研修会(中止)	6月19日～21日	東京都支部ほか	—
	1月10日～12日		
	2月20日～22日		
日赤災害医療コーディネート研修会 ※代替として日赤災害医療コーディネートフォローアップ研修会を実施	3月13日	管内各施設 (オンライン実施)	管内施設職員 19名 支部職員 5名
埼玉県独自DMAT養成研修	11月24日 ～25日	さいたまスーパー アリーナTOIRO 埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター (さいたま市)	スタッフ 4人 (さいたま・深谷・支部) 参加者 1人 (小川)
こころのケア指導者養成研修会	11月29日 ～12月1日	オンライン実施	支部職員 1人
救護員としての赤十字看護師 研修会	2月 1日 3月 7日	さいたま赤十字病院 小川赤十字病院 深谷赤十字病院	管内施設職員 72人 支部職員 3人
こころのケア研修会	3月 4日 3月11日	さいたま赤十字病院 小川赤十字病院 深谷赤十字病院	管内施設職員 43人 支部職員 1人
支部職員対象スキルアップ研修① 「救護の基礎知識」	9月14日	埼玉県支部	支部職員 15人
支部職員対象スキルアップ研修② 「日赤が保有する資機材・物資について」	10月19日	埼玉県支部	支部職員 13人
支部職員対象スキルアップ研修③ 「無線・衛星電話について」	12月22日	埼玉県支部	支部職員 11人
支部職員対象スキルアップ研修④ 「支部災害対策本部レイアウト設営」	1月21日	埼玉県支部	支部職員 16人
支部職員対象スキルアップ研修⑤ 「支部災害対策本部演習(初動対応)」	3月 3日	埼玉県支部	支部職員 14人
災害救護ロジスティック要員研修会	12月14日 1月14日	埼玉県支部	管内施設職員・支部職員 延べ 36人
日赤看護大埼玉キャンパス 災害看護活動論	2月21日・22日 ・25日	埼玉県支部(オンライン開催) 日本赤十字看護大学さいたま看護学部	支部職員 3人

その他:埼玉SMART基礎・応用研修(通年)、第三級陸上特殊無線技士養成講習 他

イ 会議

名称	日程	開催場所等	参加人数等
第2ブロック支部事業推進担当課長会議	5月25日	埼玉県支部 (オンライン実施)	支部職員 1人
救護員指導者会議(第1回)	4月12日	支部・管内各病院 (オンライン実施)	支部管内指導者 11人
救護員指導者会議(第2回)	7月30日	支部・管内各病院 (オンライン実施)	支部管内指導者 12人
救護員指導者会議(第3回)	9月27日	支部・管内各病院 (オンライン実施)	支部管内指導者 12人
救護員指導者会議(第4回)	3月23日	支部・管内各病院 (オンライン実施)	支部管内指導者 11人
救護班要員研修プログラム 検討部会(第1回)	6月11日	埼玉県支部 (オンライン実施)	支部職員 1人
救護班要員研修プログラム 検討部会(第2回)	8月5日	埼玉県支部 (オンライン実施)	支部職員 1人
救護班要員研修プログラム 検討部会(第3回)	11月8日	埼玉県支部 (オンライン実施)	支部職員 1人
救護班要員研修プログラム 検討部会(第4回)	12月20日	埼玉県支部 (オンライン実施)	支部職員 1人

(4) 赤十字防災ボランティアの養成等

大規模災害に備え、一般市民の防災意識高揚と災害時の赤十字防災ボランティアを養成するため、次のとおり研修や会議等を開催した。

<赤十字防災ボランティア養成事業>

研修会名	日程	開催場所等	参加人数等
防災ボランティア・リーダー養成研修会	2月5日	埼玉県支部 (オンライン実施)	2人

(5) その他の救護活動

名称	日程	開催場所等	参加人数等
埼玉県ナース赤十字奉仕団 臨時救護 (式典、スポーツ大会等) (中止)	年間	県内各地	—
大宮氷川神社雑踏救護	12月31日 ~1月3日	大宮氷川神社 (さいたま市大宮区)	看護師、職員、奉仕団 34人 取扱患者数 7人 迷子案内数 3人
埼玉県ナース赤十字奉仕団 研修会・勉強会	6月・12月・2月	埼玉県支部	延べ33人

東京2020オリンピック バスケットボール会場医療救護	7月25日 ～8月8日	さいたま スーパーアリーナ	管内施設職員 延べ87人
--------------------------------	----------------	------------------	--------------

(6) 日赤災害医療コーディネーターチームの設置

大災害が発生した際、被災地における医療ニーズを把握し、本社又は支部の災害対策本部に効果的かつ効果的な災害医療活動を実施するための専門的な助言をすること。また、自治体や他の医療救護機関との連携、調整を行うことを目的に、埼玉県支部に日赤災害医療コーディネーターチームを設置している。

＜日赤災害医療コーディネーターチーム登録・任命状況＞ (令和4年3月31日現在)

登録・任命区分	人数	内訳
災害医療コーディネーター	10人	さいたま赤十字病院職員 6人 小川赤十字病院職員 2人 深谷赤十字病院職員 2人
コーディネータースタッフ	20人	さいたま赤十字病院職員 7人 小川赤十字病院職員 4人 深谷赤十字病院職員 4人 小川ひなた荘 1人 埼玉県支部職員 4人

(7) 支部管内救護装備・資材の整備

大規模災害発生時に迅速かつ効果的な救護活動を実施することを目的に、次の装備・資材を整備した。

＜令和3年度配備災害救護装備・資材(支部財源 ※管内施設への配備を含む)＞

品目	配備数	品目	配備数
サージカルマスク	5,000枚	ニトリル手袋	2,000枚
アイシールド用フレーム	50個	アイシールド用シールド	100枚
飛沫予防アクリルパネル	15台	エタノールクロス	12,500枚
手指消毒液(携帯用)	660本	パーテーション(簡易間仕切り)	2張
業務用携帯型無線機	3式	業務用車載型無線機	3式
トリアージタグ	1,000枚	ライティングシート	250枚
HDMI対応PCスイッチャー	1式	ホワイトボード	3台
ボランティアベスト・帽子	100セット	救護員用ポロシャツ	230枚

(8) 地区・分区に対する救援物資配分及び救護装備・資材の整備

県内において火災・床上浸水などの小規模災害に対して、迅速に配分を行った(配分先はp.58～60参照)。

ア 救援物資分置状況 49地区・23分区

＜分置総数＞

布団セット	834 組	毛布	1,068枚	緊急セット	756 個
-------	-------	----	--------	-------	-------

イ 被災世帯数及び人員並びに配分品内訳

(令和4年3月31日現在)

	被災世帯数 (戸)	人数 (人)	配分品内訳		
			布団セット(組)	毛布(枚)	緊急セット(個)
火災	134	295	234	230	129
床上浸水	11	19	12	15	13
その他	6	11	37	16	22
合計	151	325	283	261	164

ウ 災害弔慰金

36件 820,000円

エ 赤十字救援車の配備

7地区に対し、赤十字救援車を7台配備した(配備先はp.53参照)。

配備地区:さいたま市北区地区・川越市地区・深谷市地区・新座市地区・久喜市地区
日高市地区・吉川市地区

オ 地区・分区へ配備した救護装備・資材

地域における災害救護体制の整備を図ることを目的として策定した「日本赤十字社埼玉県支部地区・分区救護装備・機器配備要綱(第6次3か年計画:令和元年度~3年度)」に基づき、地区・分区向け資材を順次配備した。令和3年度はその3か年計画の第3年次であり、整備品目は以下のとおり(23品目)である。

品目	配備数	配備地区・分区数	品目	配備数	配備地区・分区数
保管庫	4セット	4	LPガス発電機・コードリールセット	17セット	14
天幕(2間×3間)	2張	2	天幕(1.5間×2間)	6張	6
軽量折りたたみテント	4台	3	プライベートテント	26張	6
パーテーション	28台	6	簡易ベッド	48台	6
車椅子	49台	12	ブルゾン(リバーシブル)	15着	6
ブルゾン(春夏用)	43着	11	防寒衣	10着	4
ハンズフリー拡声器	7個	3	トランシーバー(一対)	8セット	4
手回し充電式防災ラジオ	7個	3	LEDランタン	91個	12
中型救急箱	11個	5	非常用糞尿処理セット	18セット	7
大型扇風機	26台	6	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	19セット	13
非接触型体温計	19個	10	飛沫予防アクリルパネル(卓上式)	34台	5
飛沫予防アクリルパネル(スタンド式)	1台	1			

(9) 義援金等の取扱い

日本赤十字社では国内外の災害等に対する義援金・救援金を受付け、被災地に送金している。

ア 国内災害義援金 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

義援金名	件数	金額
平成30年7月豪雨災害義援金	114件	765,082円
令和2年7月豪雨災害義援金	236件	2,320,281円
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	94件	754,899円
令和3年島根県松江市大規模火災義援金	55件	347,348円
令和3年7月大雨災害義援金	227件	2,575,973円
令和3年台風第9号等大雨災害義援金	103件	917,704円
令和3年8月大雨災害義援金	192件	1,629,094円
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	113件	618,135円
令和4年3月福島県沖地震災害	3件	24,643円
計	1,137件	9,953,159円

イ 海外救援金 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

救援金名	件数	金額
無指定海外救援金	10件	211,850円
バングラデシュ南部避難民救援金	48件	435,905円
中東人道危機救援金	15件	297,169円
2021年ハイチ地震救援金	35件	91,446円
アフガニスタン人道危機救援金	31件	404,791円
トンガ大洋州噴火津波救援金	53件	886,703円
ウクライナ人道危機救援金	292件	26,858,670円
計	471件	29,186,534円

救援金名	件数	金額
NHK海外たすけあい	88件	1,538,522円

ウ 一円玉募金 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

青少年赤十字加盟校(園)募金	件数	金額
一円玉募金(教育等支援事業募金)	7件	39,255円

2 救急法等の講習

不慮の事故や急病、災害に対する救命手当・応急手当の方法など、県民の命と健康を守るため、各機関・団体等からの依頼に応じて講習指導員を派遣し、健康・安全に関する知識と技術の普及と啓発を行っている。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、多くの講習が既定のカリキュラムで実施することが困難となった。

現在では、受講者や指導員等すべての講習関係者の安全を確保しながら集合型の講習やオンラインによる講習を実施し、一人でも多くの人に習得いただけるよう工夫して講習普及を行った。

(1) 救急法

一次救命処置(心肺蘇生法とAEDの使い方)やけがの手当についての知識と技術の普及を目的に、令和3年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により、次のとおり開催した。

講習会名	回数	受講者数
基礎講習	19回	319人
救急員養成講習	5回	76人
短期講習	112回	2,965人

※基礎講習:傷病者の観察の仕方及び一次救命処置(心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、気道異物除去)等救急法の基礎

※救急員養成講習:急病の手当、けがの手当(止血法、包帯法、固定法)、搬送及び救護

※短期講習:基礎講習及び救急員養成講習の内容の一部

(2) 水上安全法

水の事故から命を守るための知識と技術の普及を目的として講習を行っているが、新型コロナウイルスへの感染防止のため、すべての講習会を中止とした。代替事業として、大きなタライや会議室をプールに見立て「着衣泳」や「プールの安全管理」の短期講習を実施した。

講習会名	回数	受講者数
救助員Ⅰ養成講習	開催なし	—
救助員Ⅱ養成講習		
短期講習	13回	526人

※救助員Ⅰ養成講習:水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当

※救助員Ⅱ養成講習:海、河川及び湖沼での事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当

※短期講習:救助員Ⅰ養成講習及び救助員Ⅱ養成講習の内容の一部

(3) 健康生活支援講習

家庭における高齢者の健康管理、介護予防、介護の仕方等の知識と技術の普及を目的として、令和3年度は、災害時高齢者生活支援講習を中心に次のとおり実施した。

講習会名	回数	受講者数
支援員養成講習	開催なし	—
災害時高齢者生活支援講習	5回	174人
短期講習	3回	39人

※支援員養成講習：高齢期における健康の維持と増進、家庭内の看護、自立に向けての介護及び地域の高齢者支援

※災害時高齢者生活支援講習：災害が高齢者に及ぼす影響や避難所生活で気を付けたい症状や支援技術

※短期講習：支援員養成講習の内容の一部

(4) 幼児安全法

子どもの事故予防や応急手当、看病の仕方などの知識と技術を普及するため、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた乳幼児に対する一次救命処置(心肺蘇生とAEDの使い方)を中心に次のとおり実施した。

講習会名	回数	受講者数
支援員養成講習	開催なし	—
短期講習	51回	691人

※支援員養成講習：子どもに起こりやすい事故の予防と手当及び子ども病気への対応

※短期講習：支援員養成講習の内容の一部

(5) 雪上安全法

安全にスキーを行うために、雪上での事故防止、急病人やけが人の救助、手当などの知識と技術の普及を目的とする講習である(令和3年度は開催なし)。

(6) 第一種運転免許応急救護処置指導者養成講習会

毎年、埼玉県自動車教習所協会からの依頼に基づき、所属の教習所教官を対象に応急救護処置講習指導者の養成を行っているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い中止となった。

(7) 赤十字防災セミナー(日本赤十字社防災教育事業)

地域住民が自ら、災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目的として、赤十字奉仕団員や一般市民等を対象に、以下のとおり赤十字防災セミナーを実施した。

※赤十字減災セミナーは、令和3年度から赤十字防災セミナーに統合。

日程	受講対象者・団体名	内容	受講者数
4月15日	鴻巣市赤十字奉仕団	災害への備え	35人
5月6日	加須市赤十字奉仕団	災害への備え 減災に役立つ実技	28人
8月6日	小鹿野町赤十字奉仕団・学生	災害への備え	23人
9月17日	上里町赤十字奉仕団	災害エスノグラフィー	19人

9月28日	杉戸町赤十字奉仕団	災害への備え	17人
10月21日	日高市内市民一般	災害への備え 減災に役立つ実技	6人
12月3日	神川町赤十字奉仕団	災害エスノグラフィー	17人
12月5日	埼玉県立熊谷工業高等学校PTA	災害への備え 減災に役立つ実技	23人
12月17日	嵐山町赤十字奉仕団	災害への備え	11人
2月3日	杉戸町内一般町民、 杉戸町社協災害ボランティア	災害への備え	22人
2月26日	日高市内一般市民	災害への備え 減災に役立つ実技	7人
3月9日	さいたま市浦和区 調自治協力会	災害への備え	39人
3月13日	秩父市民生委員・児童委員 大滝支部	災害への備え	19人
計			266人

また、赤十字防災セミナーをはじめとする防災教育事業の実施・指導にあたる指導者(ファシリテーター)の養成研修を以下のとおり実施した。

名称	日程	開催場所	参加人数
日本赤十字社防災教育事業 主任指導者研修会	9月10日	オンライン実施	支部職員 3人
日本赤十字社防災教育事業 本社指導者養成研修会	9月28日 ~29日	埼玉県支部	支部職員 2人
日本赤十字社防災教育事業 支部指導者養成研修会	1月27日 ~28日	埼玉県支部	支部職員 10人
日本赤十字社防災教育事業 支部指導者フォローアップ研修会	3月4日	埼玉県支部	支部職員 14人

(8) 講習普及に対するボランティアの育成

講習事業の普及推進のため、各奉仕団が主体となって団員を対象に研修を行っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、一堂に会する人数を最小限とし、開催期間を短縮するほか、感染予防対策を徹底したうえで実施している。

名称	日程	開催場所	参加人数等
日赤埼玉水上安全奉仕団 研修会(中止)	—	神奈川県三浦市	—
埼玉県子育て介護赤十字奉仕団 研修会・勉強会	4月24日	埼玉県支部	奉仕団員延べ 57人 支部職員延べ 8人
	6月18日	埼玉県支部	
	7月12日	埼玉県支部	
	9月29日	埼玉県支部	
	11月26日	埼玉県支部	
	2月25日	埼玉県支部	

	3月25日	埼玉県支部	
埼玉安全赤十字奉仕団 研修会・勉強会	4月 3日	埼玉県支部	奉仕団員延べ 149人 支部職員延べ 13人
	5月22日	埼玉県支部	
	7月10日	埼玉県支部	
	11月13日	埼玉県支部	
	11月27日	埼玉県支部	
	1月29日	埼玉県支部	
	3月12日	埼玉県支部	

(9) 講習指導員の養成

講習普及体制を拡充強化するため、感染予防対策を徹底したうえで、下記のとおり実施した。

名称	日程	開催場所	養成人数
赤十字救急法指導員養成講習	12月4日、5日、 11日、12日、13日	埼玉県支部	16人

(10) 救急法等指導員在籍状況

	赤十字職員	ボランティア	計
救急法指導員	98人	115人	213人
水上安全法指導員	5人	50人	55人
雪上安全法指導員	1人	4人	5人
健康生活支援講習指導員	37人	38人	75人
幼児安全法指導員	42人	53人	95人

(11) 講習指導員の育成

各都道府県支部で実施している赤十字講習がより充実したものになるよう、講習指導者の指導技術の向上・統一を図ることを目的として次のとおり各種研修会を開催した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、開催形態を見直して実施した。

ア 赤十字救急法等講師研修会

名称	日程	開催場所等	参加人数等
健康生活支援講習・ 幼児安全法合同講師研修会	2月8日 ～10日	本社及び埼玉県支部 (オンライン実施)	6人
水上安全法講師研修会	12月16日	本社	2人
救急法講師研修会	1月18日 ～19日	本社及び埼玉県支部 (オンライン実施)	5人

イ 赤十字講習指導員研修会

名称	日程	開催方法	参加人数等
幼児安全法指導員研修会	3月26日～29日	集合型	指導員 95人
健康生活支援講習指導員研修会	3月18日	書面開催	指導員 75人

水上安全法指導員研修会	1月31日	集合型	指導員 55人
救急法指導員研修会	3月26日～29日	集合型	指導員 213人

(12) 講習普及に関する会議

名称	日程	開催場所等	参加人数等
第2ブロック支部事業推進担当課長会議(再掲)	5月25日	埼玉県支部 (オンライン実施)	支部職員 1人
講習担当課長会議	7月2日	オンライン実施	支部職員 1人
第2ブロック支部講習普及事業研究会	7月6日	オンライン実施	支部職員 4人
赤十字講習推進委員会	5月18日 12月6日 2月17日	オンライン実施	支部職員 1人
地域包括ケア会議	5月25日	オンライン実施	支部職員 4人
	10月27日	オンライン実施	
	2月2日	オンライン実施	

(13) 講習資材等の整備

品目	整備数
二酸化炭素濃度測定器	10台
講習資器材管理用ブルコン	1台
訓練人形衣服	30着

3 赤十字奉仕団

地域のボランティアが主体となって、人道博愛の精神のもとに、災害時の救援活動、献血の推進、障がいを持つ方や高齢者の福祉向上のための奉仕活動などを実践し、明るく住みよい地域社会づくりに貢献している。

なお、令和3年度における奉仕団の共通活動目標は、次のとおりとし、地域や団体ごとに工夫を凝らしたPRに努め、赤十字のすそ野を広げるための活動も推進した。

<共通活動目標>

- 地域防災訓練への積極的参加
- 地域に求められる奉仕団活動の推進
- 赤十字防災セミナーの受講

(1) 奉仕団数及び団員数

(令和4年3月31日現在)

地区別 区分	管内 総数	結成 地域数	結成 比率	奉仕 団数	団員数		
					男	女	計
地域奉仕団(市・区) ^{※1}	49	28	57%	28	402	3,802	4,204
〃 (町・村)	23	21	91%	21	77	1,474	1,551
小計	72	49	68%	49	479	5,276	5,755
青年奉仕団	-	-	-	1	7	7	14
特殊奉仕団 ^{※2}	-	-	-	9	620	312	932
救護ボランティア	-	-	-	-	42	15	57
合計	72	49	68%	59	1,148	5,610	6,758

※1 さいたま市を除く市及びさいたま市内10区の合計

※2 特殊奉仕団・・・マジック、安全、病院ボランティア、ナース、支部援助、水上安全、青少年赤十字賛助、子育て介護、埼玉工業大学(大学職員・学生)

(2) 主な活動内容

毎年実施している会員増強運動をはじめとした赤十字事業全般への協力、福祉施設・医療機関等への慰問や作業奉仕などの活動及びボランティア(奉仕団員)のスキルアップ研修会は、新型コロナウイルス感染症まん延に伴う外出自粛要請等により、中止や規模を縮小して実施した。

コロナ禍においても行える活動、また、自宅でもできる活動として、防護服、アクリルたわし、千羽鶴などといった様々な手作り品を作製し、地域の福祉施設や学校等に寄贈したほか、新型コロナウイルス感染症ワクチンの集団接種会場での消毒作業や炊き出し訓練の実施など、各奉仕団で感染防止に留意しながら創意工夫した活動を行った。

(3) 奉仕団関係主要事業

ア 奉仕団員の研修等

名称	日程	開催場所	参加人数
ボランティア基礎研修会	第1回 6月24日	坂戸市文化会館	12人
	第2回 6月30日	埼玉県支部	24人
	第3回 7月7日	熊谷市妻沼公民館	14人
ボランティアリーダーシップ研修会 (中止)	第1回 3月8日	埼玉県支部	—
	第2回 3月10日	埼玉県支部	—
赤十字奉仕団委員長研修会 (書面開催)	3月4日(通知)	—	—

その他:

- 赤十字ボランティア・リーダー研修会(地域・特殊奉仕団対象) [10月28～29日:本社等]
…オンライン実施 地域奉仕団委員長1人が参加
- 赤十字ボランティア・リーダー研修会(青年奉仕団対象) [10月30～31日:本社等]
…オンライン実施 青年奉仕団副委員長1人が参加
- 第1回赤十字奉仕団埼玉県支部委員会 [5月19日:埼玉県支部] …委員17人が出席
- 第1回赤十字奉仕団埼玉県支部委員会常任委員会 [12月8日:埼玉県支部]
…正副委員長2人、常任委員3人が出席
- 第2回赤十字奉仕団埼玉県支部委員会 [12月8日:支部] …委員19人が出席
- 赤十字フェス2021 in 浦和 [11月7日:埼玉県支部] 中止
- 第2ブロック支部奉仕団委員長・担当課長会議 [11月26日:新潟県支部等] オンライン実施
- 赤十字奉仕団中央委員会 [5月28日:本社等]
…オンライン実施 支部委員会委員長1人が出席

イ 青年奉仕団の事業

名称	日程	開催場所	参加人数
埼玉県青年赤十字奉仕団 連絡協議会 総会	5月23日	オンライン実施	参加団員 4人
第2ブロック支部青年赤十字奉仕団 連絡協議会	6月27日(第1回) 11月6日(第2回)	オンライン実施	参加団員 1人
クリスマス献血キャンペーン	12月19日	オンラインイベント 実施	※オンラインイベントの ため団員の参加なし

その他:大宮アルディージャ手話応援デー参加[10月9日:NACK5スタジアム]

ラストロジ[3月19日:オンライン実施]

青年赤十字奉仕団全国協議会、青少年赤十字活動支援

ウ 青少年赤十字賛助奉仕団の事業

名称	日程	開催場所	参加人数
埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団総会	6月11日	埼玉県支部	参加団員 30人
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 第2ブロック研究会	7月17日	オンライン実施	参加団員 1人

埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団 全体研修会(中止)	2月9日	春日部市内他	—
-----------------------------	------	--------	---

その他:青少年赤十字加盟校・未加盟校の訪問、加盟促進

エ 活動費の助成

地域奉仕団、特殊奉仕団、青年奉仕団に対し、活動費の助成を行った。

オ 赤十字PR用資材の提供

地域奉仕団に対し、赤十字PR用資材(リーフレット、ポケットティッシュ等)の提供を行った。

4 青少年赤十字

赤十字精神に基づき、青少年が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的に「健康安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」の三つの実践目標を掲げて活動を展開した。

(1) 青少年赤十字加盟校の状況

新たに26校が新規加盟し、617の学校(園)で約20万人のメンバーが活動を行った。また、青少年赤十字研究奨励費を49校に交付し、活動の多様化・活性化を促進した。

ア 加盟校(園)、メンバー数

	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	130園	263校	158校	64校	2校	617校(園)
メンバー数	17,425人	113,235人	61,944人	12,914人	182人	205,700人

イ 令和3年度新規加盟校(園)

	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	1園	9校	14校	2校	0校	26校(園)
メンバー数	14人	4,760人	6,612人	523人	0人	11,909人

ウ 令和3年度退会校(園)

	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	0園	0校	0校	0校	0校	0校
メンバー数	0人	0人	0人	0人	0人	0人

(2) 主な事業

子どもたちの自主性や自律性を引き出すため、学校の先生が指導者となりメンバー(児童・生徒)を対象に毎年宿泊型集合研修「リーダーシップ・トレーニング・センター」を開催してきたが、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は代替事業の実施や延期、形態や内容等規模を縮小して実施をした。

また、高校生のメンバーが主となる高校生協議会の活動や青少年国際交流事業などについては、引き続きオンラインツールを活用することで新たな形での学びや活動の機会を創出することができた。

ア 各種研修会等

名 称	日 程	開催場所	参加人数等
埼玉県青少年赤十字高校生協議会総会	5月9日	オンライン実施	高校生47人、指導者9人
青少年赤十字指導者協議会総会・研究協議会	6月11日	埼玉県支部・オンライン実施	指導者 32人
青少年赤十字指導者研修会(中止)	8月19日	埼玉県支部	—
こども赤十字指導者研修会(中止)	8月18日	埼玉県支部	—

支部職員対象スキルアップ研修 「青少年赤十字×防災教材×オンライン」	3月18日 3月23日	埼玉県支部	支部職員 18人
---------------------------------------	----------------	-------	----------

その他:指導者協議会役員会 第1回[5月21日:支部およびオンライン実施]
 第2回[9月28日:支部およびオンライン実施]
 第3回[11月16日:支部およびオンライン実施]
 第4回[2月25日:支部およびオンライン実施]
 臨時役員会(青少年赤十字100周年事業検討部会)
 コンクール班[2月1日:支部およびオンライン実施]
 記念制作物班[2月9日:支部およびオンライン実施]
 記念式典班[2月15日:支部およびオンライン実施]
 高校生協議会役員研修会[7月18日:オンライン実施]
 指導者協議会役員会 第1回[5月21日]
 青少年赤十字地区協議会等補助金説明会[6月16日:オンライン実施]
 青少年赤十字地区協議会リーダーシップ・トレーニング・センター報告会[8月19日:中止]
 救急法(基礎・救急員養成)講習会[8月15日~16日:中止]
 幼児安全法講習会[8月11日:中止]

<全県>

名称	日程	開催場所等	参加人数
小中学生リーダーシップ・トレーニング・センター(中止) (代替事業「小・中学生1日防災学習プログラム」を実施)	7月29日 8月1日	首都圏外郭放水路 他 (7月29日) 埼玉県防災学習センター (8月1日)	児童・生徒延べ26人 指導者延べ13人 (2日間計)
高校生リーダーシップ・トレーニング・センター	12月25日 ~26日	埼玉県支部	生徒 15人 指導者 8人
第43回群馬県・埼玉県青少年赤十字高校生交歓研修会(中止)	—	資料交換のみ実施	—

その他:高校生テーマ別学習会①(災害時に私たちに何ができるか)[9月19日:オンライン実施]
 高校生テーマ別学習会②(日韓オンライン国際交流会)[11月13日:支部およびオンライン実施]
 高校生テーマ別学習会③(災害時における国内外のボランティア活動)[中止]
 勉強会(ウクライナ人道危機と赤十字の活動を知ろう)[3月18日:オンライン実施]

<地区>

県内4地区(比企・北埼玉・埼玉葛・大里)で実施予定であった地区リーダーシップ・トレーニング・センターは、2地区(北埼玉・埼玉葛)でオンラインにより実施した。

比企地区・大里地区の2地区は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。入間地区においては東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が予定されていたことから計画策定時点で中止となった。

名称	日程	開催場所等	参加人数
入間地区リーダーシップ・トレーニング・センター	—	—	—
比企地区リーダーシップ・トレーニング・センター	—	—	—
北埼玉地区小中学生リーダーシップ・	7月28日	オンライン実施	児童・生徒 46人

トレーニング・センター			指導者 23人
埼玉葛地区リーダーシップ・ トレーニング・センター	8月 3日	オンライン実施	児童・生徒 82人 指導者 26人
大里地区リーダーシップ・ トレーニング・センター	—	—	—

<本社主催>

名称	日程	開催場所等	参加人数
青少年赤十字創設100周年直前 令和3年度青少年赤十字 スタディー・プログラム(※) ※スタディー・センター代替事業	12月25日 ～26日	オンライン実施 (埼玉県支部にて高校生リ ーダーシップ・トレーニン グ・センターと合同開催)	高校生4人 中学生9人

その他:青少年赤十字支部担当者研修会[4月9日:オンライン実施]

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会

[6月5日:オンライン実施]

青少年赤十字全国指導者協議会総会[6月29日:オンライン実施]

指導主事対象青少年赤十字研究会[9月30日:オンライン実施]

<第2ブロック主催>

名 称	日 程	開催場所	参加人数
青少年赤十字指導者研究協議会 総会・研究集会	8月20日	東京都支部 (オンライン実施)	61人

イ 防災教育プログラム

教材名	対象	回数	参加人数
まもるいのち ひろめるぼうさい	児童生徒および教員等	12回	1,991人

ウ 国際親善活動

名 称	日 程	開催場所	参加人数等
令和3年度青少年赤十字 国際交流事業	(隔年開催のため 未実施)	—	—
大韓赤十字社京畿道支社 JRC/RCYメンバー派遣事業	(隔年開催のため 未実施)	韓国京畿道	—
大韓赤十字社京畿道支社 JRC/RCYメンバー訪問団交流 事業(オンラインに変更)	11月13日	オンライン実施 (高校生テーマ別学 習会②と合同開催)	高校生 27人 指導者 6人
香港赤十字社RCYメンバーとの オンライン交流会	8月28日	オンライン実施	高校生 11人 指導者 3人
インドネシア赤十字社RCYメン バーとのオンライン交流会	1月29日	オンライン実施	高校生 5人 指導者 1人

エ 人権教育の出前授業

教材名	対象	回数	参加人数
新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！	児童生徒および教員等	16回	5,827人

オ 埼玉県支部研究奨励校

学校・幼稚園		
嵐山町立嵐山幼稚園	鴻巣市立赤見台第二小学校	春日部市立春日部南中学校
さいたま市立大宮東小学校	鴻巣市立箕田小学校	草加市立栄中学校
さいたま市立辻南小学校	深谷市立八基小学校	草加市立瀬崎中学校
さいたま市立七里小学校	越谷市立越ヶ谷小学校	越谷市立中央中学校
さいたま市立日進小学校	蕨市立中央小学校	越谷市立平方中学校
さいたま市立春岡小学校	久喜市立青毛小学校	三郷市立彦糸中学校
さいたま市立谷田小学校	三郷市立高州小学校	幸手市立幸手中学校
川越市立川越小学校	坂戸市立浅羽野小学校	ふじみ野市立花の木中学校
熊谷市立市田小学校	坂戸市立勝呂小学校	毛呂山町立毛呂山中学校
熊谷市立熊谷西小学校	幸手市立上高野小学校	ときがわ町立都幾川中学校
川口市立戸塚小学校	幸手市立さかえ小学校	宮代町立百間中学校
川口市立並木小学校	滑川町立月の輪小学校	さいたま市立浦和高等学校
川口市立鳩ヶ谷小学校	さいたま市植水中学校	筑波大付属坂戸高等学校
川口市立南鳩ヶ谷小学校	さいたま市立田島中学校	
川口市立安行小学校	さいたま市立七里中学校	
行田市立中央小学校	さいたま市立与野西中学校	
羽生市立手子林小学校	川口市立上青木中学校	
羽生市立村君小学校	加須市立北川辺中学校	

5 医療事業及び医療社会事業

高度化、専門化の進む医療環境に対応するため、日本赤十字社では医療事業推進本部制を敷き、健全かつ安定的な病院経営を維持するためグループ運営に努めている。

県内においてはさいたま、小川、深谷各赤十字病院が各地域の中核医療機関として、高度医療、救急医療、周産期医療、保健衛生活動の中心的役割を担っているほか、新型コロナウイルス感染症患者の治療・受け入れや病床確保に努めるなど、赤十字の理念に基づく幅広い医療事業を展開している。

(1) 病院の概要等

名称	さいたま赤十字病院	小川赤十字病院	深谷赤十字病院
創立年月日	昭和9年5月15日	昭和14年5月27日	昭和25年11月1日
所在地	さいたま市中央区新都心1-5	比企郡小川町小川1525	深谷市上柴町西5-8-1
電話番号	048-852-1111	0493-72-2333	048-571-1511
敷地(延)	14,001.33㎡	45,157.54㎡	24,728.8㎡
建物(延)	67,333.69㎡	21,588.93㎡	34,421.64㎡
院長名	安藤 昭彦	竹ノ谷 正徳	伊藤 博

(2) 病床数及び職員数

(令和4年3月31日現在)

病院名		さいたま赤十字病院	小川赤十字病院	深谷赤十字病院
病床数	一般	632床	252床	468床
	感染症	0床	0床	6床
	精神	6床	50床	0床
	計	638床	302床	474床
職員数	医師	235人	31人	100人
	看護師	772人	251人	464人
	薬剤師	35人	16人	25人
	その他	400人	199人	263人
	合計	1,442人	497人	852人

(3) 診療科別・入院外来別延べ患者数内訳

(令和3年4月～令和4年3月 単位:人)

診療科	入院			外来		
	さいたま	小川	深谷	さいたま	小川	深谷
内科	61,555	33,406	10,779	105,534	41,158	13,107
血液内科	-	-	13,764	-	-	12,245
腎臓内科	-	-	8,891	-	-	6,369
精神科・神経科	0	710	0	4,537	14,099	4,111
神経内科		0	-		0	-
脳神経内科	7,304	-	1,645	8,592	-	4,997
呼吸器科・呼吸器外科	2,122	0	2,025	3,463	0	1,436
消化器科・胃腸科	0	0	7,492	0	0	9,598
循環器内科	18,231	0	15,750	38,696	0	10,430
小児科	3,392	0	4,651	5,046	0	11,043
外科	18,682	9,123	13,276	31,173	13,520	16,736
整形外科	30,279	20,021	10,315	27,130	22,951	17,135
形成外科	833	0	1,501	2,690	0	5,396
脳神経外科	8,126	1,891	6,267	4,684	6,203	3,742
心臓血管外科	3,791	0	2,666	3,259	0	2,952
小児外科	0	0	506	0	0	2,135
皮膚科	415	421	0	5,523	5,968	10,249
泌尿器科	4,640	2,835	1,256	15,047	13,304	6,007
産婦人科	15,973	0	5,688	24,703	2,314	13,629
眼科	5,280	1,235	230	17,690	12,629	9,147
耳鼻咽喉科	1,742	115	104	9,555	3,008	3,013
放射線科	0	0	0	11,442	751	4,901
麻酔科	0	0	0	4,373	645	2,628
救急科	16,380	0	7,883	7,019	0	924
緩和ケア科	0	0	3,260	55	0	1,078
歯科口腔外科	748	0	524	12,711	0	8,047
合計	199,493	69,757	118,473	342,922	136,550	181,055

※さいたま赤十字病院における呼吸器患者数は、呼吸器外科のみの人数

※さいたま赤十字病院の乳腺外科の患者数は外科に含む

※深谷赤十字病院における精神科患者数(入院分)は内科に含む

(4) 救急患者取扱状況

ア 時間帯による搬送別状況

(単位:人)

時間帯	搬送手段	搬送事由	さいたま	小川	深谷
時間内	救急車	交通事故	26	27	72
		その他	2,578	620	1,048
	その他	交通事故	2	5	8
		その他	1,372	127	1,463
時間外	救急車	交通事故	256	29	73
		その他	3,967	501	641
	その他	交通事故	31	10	21
		その他	3,429	1,156	1,443
深夜	救急車	交通事故	71	5	15
		その他	1,913	164	350
	その他	交通事故	4	0	1
		その他	1,361	169	664
小計	救急車	交通事故	353	61	160
		その他	8,458	1,285	2,039
	その他	交通事故	37	15	30
		その他	6,162	1,452	3,570
合計			15,010	2,813	5,799

イ 科別患者数

(単位:人)

	内科	小児科	外科	整形 外科	脳神経 外科	産婦 人科	その他	合計
さいたま	2,269	1	307	1,031	495	1,336	9,571	15,010
小川	1,380	0	216	663	220	0	334	2,813
深谷	997	987	341	453	413	187	2,421	5,799

(5) 病院における医療社会活動

ア さいたま赤十字病院

活動内容	開催 日数	対象 者数	従事者			備考
			職員	その他	合計	
母親学級	0	0	0	0	0	
マタニティービクス	0	0	0	0	0	
栄養指導	242	2,969	2,969	0	2,969	
糖尿病教室	0	0	0	0	0	
腎臓病教室	6	14	8	0	8	
乳児検診	163	848	326	163	489	
成人病検診	242	2,052	1,210	871	2,081	
人間ドック(A)	193	253	965	695	1,660	
人間ドック(B)	242	1,571	1,210	871	2,081	
脳ドック	48	106	240	178	418	
主婦検診	147	184	735	529	1,264	
身体検査	242	2,359	1,210	871	2,081	
健康生活支援講習会	0	0	0	0	0	
救急法講習会	4	117	18	0	18	
幼児安全法	0	0	0	0	0	
救命救急講習	1	45	3	0	3	救急部、救急救命士対応
こころのケア研修	1	20	7	0	7	
救護訓練参加	14	139	48	0	48	埼玉SMART訓練、日赤訓練、EMIS入力訓練、さいたま市防災訓練、院内防災訓練
訪問看護	0	0	0	0	0	
ボランティア受入	0	0	0	0	0	
市民公開講座	0	0	0	0	0	
救護活動	36	—	111	0	111	COVMAT、大宮氷川神社雑踏救護、東京オリンピック、フィギュアスケートJAPAN OPEN

イ 小川赤十字病院

活動内容	開催 日数	対象 者数	従事者			備考
			職員	その他	合計	
栄養相談	257	1,320	4	0	4	
糖尿病教室	8	53	51	0	51	新型コロナウイルスの影響で 集合研修の中止あり
生活習慣病予防健診	242	1,211	1,936	0	1,936	
人間ドック	239	1,265	1,912	0	1,912	
脳ドック	82	108	656	0	656	
定期健診	178	658	1,424	0	1,424	
婦人系検診	144	589	1,128	0	1,128	
アスベスト健診	0	0	0	0	0	
訪問看護 (訪問リハビリ含む)	263	5,666	2,002	42	2,044	
健康生活支援講習 講習会	0	0	0	0	0	
救急法講習会	6	17	17	0	17	
幼児安全法講習会	0	0	0	0	0	
救護訓練参加	3	17	17	0	17	
救護活動	2	2	2	0	2	大宮氷川神社雑踏救護
患者慰安	0	0	0	0	0	
ボランティア受入	0	0	0	0	0	

ウ 深谷赤十字病院

活動内容	開催 日数	対象 者数	従事者			備考
			職員	その他	合計	
救護活動	4	多数	5	0	5	新型コロナウイルス 対応他
救護訓練参加	5	多数	13	0	13	
救急法講習会	4	17	7	0	7	
健康生活支援講習 講習会	0	0	0	0	0	
幼児安全法講習会	0	0	0	0	0	
患者慰安	28	多数	24	0	24	七夕飾り ハンドベル演奏 等
無料図書貸し出し	241	3	2	0	2	
集団検診	0	0	0	0	0	
外来ドック	241	561	3	2.5	5.5	
成人病予防検査	0	0	0	0	0	
健康診断	241	146	3	2.5	5.5	
栄養相談	242	2,466	6	0	6	
パパ・ママ学級	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス 感染症拡大のため 休止中
乳児健診	48	323	8	0	8	
アレルギー外来	49	920	8	0	8	
予防接種	50	435	6	0	6	
糖尿病教室	0	0	0	0	0	
ボランティア受入	0	—	0	0	0	新型コロナウイルス 感染症拡大のため、 活動自粛

(6) 新型コロナウイルス感染症対応

各赤十字病院は、埼玉県が指定する「重点医療機関」として新型コロナウイルス感染症陽性患者の入院治療にあたった。県や保健所の要請に基づき、病院の持つ機能に合わせて、重症患者への集中治療や手術対応、中等症患者の入院収容などを行った。

このほか、発熱患者への検査や診療、地域医療従事者へのワクチン接種にあたる等、新型コロナウイルス感染症に対し、日夜対応をしている。

6 社会福祉活動

2つの特別養護老人ホームでは、地域住民やボランティア等の協力を得て施設の運営をしており、災害時における要援護者支援施設として福祉避難所に指定されている。

また、協力病院と連携した健康管理や理学療法士による身体機能維持に努めながら、利用者一人ひとりの個性を尊重し、自立した生活を営めるよう、質の高いサービス提供を心がけた。

(1) 運営、処遇方針

ア 小川ひなた荘

隣接する小川赤十字病院との連携により、医療依存度の高い利用者に対しても迅速な対応ができる体制を整え、地域高齢者の福祉向上に努めている。

また、多年にわたり社会の進展に寄与してきた利用者が、心身ともに健康で生き甲斐のある生活をしていただくことを願って赤十字の基本原則に立ち、心の通い合う施設づくりを家族、地域の人々とともに築くことを基本方針としている。

【運営・処遇方針】

- 利用者の人権の尊重と心の通い合う介護の実践。
- 利用者、家族への十分な説明と同意によるサービスの提供。
- 地域に根ざした透明性のある施設運営。

イ 彩華園

平成17年に埼玉県から移管を受けて以来、日本赤十字社が運営を行っており、「利己心と闘い、無関心に陥ることなく、人の痛みや苦しみに目を向け、常に想像力をもって行動します。」という精神に基づき、特に下記の3つのケアを重点項目として取り組んでいる。

【運営・処遇方針】

- 認知症ケア
認知症になってもその方らしさが失われることなく生活できるように支援する。認知症介護実践者研修の受講により研鑽を積み認知症ケアを実践する。また、地域の人に対して、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症サポーターを養成する。
- 看取りケア
人生の最後を迎えるにあたり安らかな最期を迎えられるようにご本人やご家族と一緒に看取りケアに取り組む。
- 口腔ケア
できる限り口から美味しく食事がとれるように管理栄養士・歯科医師・歯科衛生士ほか、多職種で口腔ケアに取り組む。

(2) 施設概要

(令和4年3月31日現在)

名称	特別養護老人ホーム 小川ひなた荘	特別養護老人ホーム 彩華園
開設年月日	昭和60年4月	平成17年4月
所在地	比企郡小川町小川1548-1	熊谷市上川上266
電話番号	0493-74-2191	048-524-1391
敷地(延)	5,079㎡	17,555㎡
建物(延)	2,016㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て	5,987㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て
実施事業 ※()内は 定員数	介護老人福祉施設(55人)	介護老人福祉施設(88人) 短期入所生活介護事業(10人) 認知症対応型通所介護事業(12人) 居宅介護支援事業
園長名	金井 正裕	乾 耕太郎
職員数 ※()内は臨時 職員数再掲	園長 1人 事務員 2人(1人) 生活相談員 1人 介護職員 22人(9人) 看護職 5人(3人) 栄養士 2人(1人) 調理員 6人(5人) 医師 2人(非常勤) 介護支援専門員 1人 その他 7人(7人)	園長 1人 事務員 3人(1人) 生活相談員 5人(1人) 介護職員 46人(23人) 看護職 3人(1人) 機能訓練指導員 2人(1人) 栄養士 1人 調理員 委託 医師 2人(非常勤) 介護支援専門員 2人 設備員 1人(1人) その他 4人(4人)

(3) 特別養護老人ホーム入所者状況

施設名	小川ひなた荘	彩華園
入退所者数	入所者 18人 退所者 20人	入所者 21人 退所者 21人
平均年齢 (令和4年3月31日現在)	男性 84.0歳 女性 85.6歳 平均 85.2歳	男性 85.2歳 女性 86.2歳 平均 86.1歳
平均介護度 (令和4年3月31日現在)	男性 4.5 女性 4.4 平均 4.5	男性 3.7 女性 4.0 平均 3.9

(4) 短期入所生活介護事業(ショートステイ)利用状況

施設名	利用実人数	利用延人数	利用延日数	稼働率
彩華園	年間 195人	年間 3,462人	年間 3,462日	94.8%
	月平均 16.3人	月平均 288.5人	月平均 288.5日	

(5) 通所介護事業(デイサービス)利用状況

施設名	利用実人数	平均介護度 (令和4年3月31日現在)	利用延人数	1日平均
彩華園	年間 240人	2.9	年間 3,124人	10.0人
	月平均 20.0人		月平均 260.3人	

※小川ひなた荘は、平成28年度から同事業を廃止。

(6) 居宅介護支援事業所利用状況

施設名	利用延人数	利用サービス延人数	
彩華園	年間 306人 月平均 25.5人	通所介護 201人	通所リハビリ 22人
		訪問看護 56人	訪問入浴 0人
		訪問介護 58人	訪問リハビリ 0人
		短期入所 48人	福祉用具貸与 155人

※小川ひなた荘は、平成28年度から同事業を廃止。

(7) 社会福祉施設の業務改善

埼玉県内の社会福祉施設の経営が厳しい中、安定的な施設運営を目指すうえで小川ひなた荘の事務部門を彩華園に集約を開始したほか、共同購入の協議を重ね、介護用おむつの共同購入を開始した。

7 血液事業

血液事業の推進にあたり、県内に7か所の献血ルームを開設し街頭で献血協力の呼びかけを行っているほか、献血バスを各地へ運行し、安全性の高い輸血用血液を安定的に確保し、医療機関に供給している。

急速な少子高齢化により全国的に献血協力者が減少する中、令和3年度は新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響もあり、深刻な献血協力者不足となる事態もあったが、献血の重要性を広く知って頂くため、行政と一体になって日々の献血のご協力を呼び掛けたほか、各種キャンペーンを積極的に展開し、献血者数の増加に努めた。

(1) 献血状況及び供給状況

ア 献血状況

献血者数は、目標 236,987 人に対し 240,942 人で、内訳は、200mL 献血 11,196 人(前年比 1,747 人減)、400mL 献血 160,624 人(前年比 3,362 人増)、成分献血 69,122 人(前年比 1,120 人減)であった。総数では 240,942 人(前年比 495 人増)、献血量は 104,253L (前年比 100.6%)であった。

(単位:人)

献血種別	令和元年度	令和2年度	令和3年度
200mL	12,934	12,943	11,196
400mL	154,061	157,262	160,624
成分献血	62,809	70,242	69,122
合計	229,804	240,447	240,942

イ 供給状況

供給数は、200mL 献血由来 10,978 本、400mL 献血由来 190,443 本、成分献血由来 44,889 本であり、前年と比較し、200mL 献血由来 1,073 本減、400mL 献血由来 8,286 本増、成分献血由来 385 本増、全体では前年度の 238,712 本に比べ、7,598 本増加の 246,310 本であった。

(2) 実施事業

埼玉県赤十字血液センター(以下「血液センター」とする)では、令和3年度の献血計画に基づき、安全性の高い輸血用血液の安定的な確保に努めたほか、次の事業を実施した。

ア キャンペーンの実施

「いこう！献血」[通年]

「高校生献血カード献血推進事業」 [通年]

「みんなの献血」 [4月～5月]

「新社会人献血キャンペーン」 [4月～6月]

「世界献血者デー」 [6月]

彩の国さいたま「愛の血液助け合い運動」 [7月～8月]

- 「初回献血+ラブラッド登録キャンペーン」 [9月～11月]
- 「はたちの献血キャンペーン」 [1月～2月]
- 「シニア60～64初回献血キャンペーン」 [1月～3月]
- 「卒業献血キャンペーン」 [2月～4月]
- 「大宮アルディージャ献血応援キャンペーン」 [5月、6月、7月、8月、9月、12月]

イ イベント等の開催

- 「彩の国さいたま愛の血液助け合いの集い」 [8月](中止)
- 「クリスマス献血キャンペーン2021(協力:埼玉西武ライオンズ)」 [12月]

ウ その他の取組み

- 血液に関する出前講座 [通年]
- #彩の国けんけつNEWS [通年]
- 献血推進ポスターコンクールの実施 [8月]

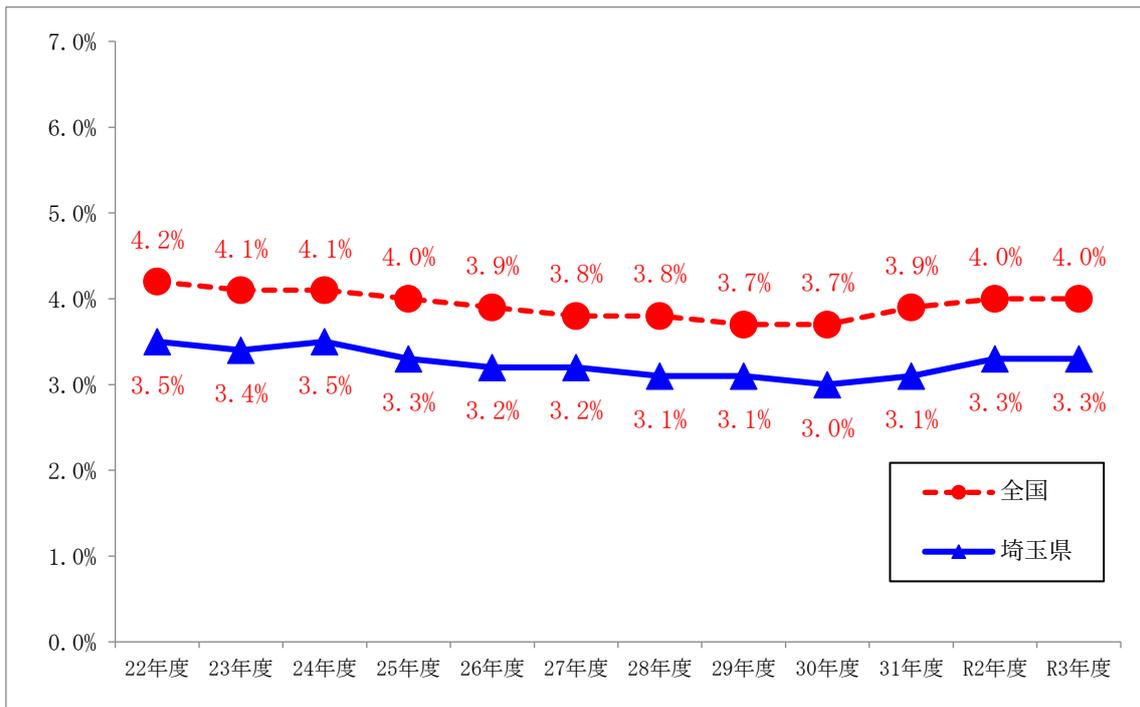
(3) 献血状況

ア 令和3年度献血者数

埼玉県			全国		
献血者数	対前年比	献血率	献血者数	対前年比	献血率
240,942人	100.2%	3.3%	5,053,198人	100.3%	4.0%

※献血率…1年間の献血者数を総人口で割ったもの

イ 献血率の推移



ウ 献血者数・献血率

献血者数				対前年比 伸び率	献血率	献血目標数	目標達成率
240,942人				100.2%	3.3%	236,987人	101.7%
内 訳	200mL	11,196人	4.6%				
	400mL	160,624人	66.7%				
	成分	69,122人	28.7%				

エ 受入施設別献血者数

種 別	血液センター		移動採血		献血ルーム		合計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
200mL	-	-	6,332人	56.6%	4,864人	43.4%	11,196人	4.6%
400mL	-	-	67,025人	41.7%	93,599人	58.3%	160,624人	66.7%
成分	-	-	0人	0.0%	69,122人	100.0%	69,122人	28.7%
合計	-	-	73,357人	30.4%	167,585人	69.6%	240,942人	100.0%

※血液センターでの献血の実施はなかった。

オ 受入施設別平均献血者数

受入施設名	献血者数 A	施設(台)数 B	1施設(台)	稼働日	1日(台)
			平均献血数	(台)数	平均献血者数
			A/B	C	A/C
血液センター	-	-	-	-	-
移動採血車	73,357人	10	7,335.7人	1,680	43.7人
献血ルーム	167,585人	7	23,940.7人	2,422	69.2人

※血液センターでの献血の実施はなかった。

カ 献血ルームの献血状況

区分	献血者数(人)				稼働 日数	1日平均献血者数(人)			
	200mL	400mL	成分	計		200mL	400mL	成分	計
所沢 献血ルーム	409	8,183	10,908	19,500	361	1.1	22.7	30.2	54.0
川越 献血ルーム	1,220	14,432	12,121	27,773	365	3.3	39.5	33.2	76.1
鴻巣 献血ルーム	962	14,747	0	15,709	293	3.3	50.3	0.0	53.6
大宮献血ルーム ウエスト	1,114	22,838	22,373	46,325	365	3.1	62.6	61.3	126.9
越谷 献血ルーム	727	16,048	10,091	26,866	365	2.0	44.0	27.6	73.6
熊谷駅 献血ルーム	208	6,187	5,116	11,511	311	0.7	19.9	16.5	37.0
川口駅 献血ルーム	224	11,164	8,513	19,901	362	0.6	30.8	23.5	55.0

キ 年齢・性別・献血者数

(単位:人)

種別	性別	年代						計
		16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	
200mL	男	1,231	103	40	31	57	30	1,492
	女	3,113	1,884	924	1,316	1,739	728	9,704
	計	4,344	1,987	964	1,347	1,796	758	11,196
400mL	男	4,007	16,093	18,437	31,151	33,924	13,234	116,846
	女	1,510	8,107	6,859	10,597	12,619	4,086	43,778
	計	5,517	24,200	25,296	41,748	46,543	17,320	160,624
成分	男	276	3,138	6,358	14,567	17,993	8,279	50,611
	女	239	2,319	3,202	5,219	5,556	1,976	18,511
	計	515	5,457	9,560	19,786	23,549	10,255	69,122
合計	男	5,514	19,334	24,835	45,749	51,974	21,543	168,949
	女	4,862	12,310	10,985	17,132	19,914	6,790	71,993
	計	10,376	31,644	35,820	62,881	71,888	28,333	240,942

8 国際活動

世界的な人道支援団体である赤十字社の一員として、武力紛争、難民問題、自然災害など世界各地で起こる危機に対し、赤十字国際委員会(ICRC)や国際赤十字・赤新月社連盟の調整の下、緊急救援から長期にわたる人道支援まで多岐にわたる活動に積極的に取り組んでいる。

当支部では、東アジア地域において積極的な交流事業を実施しており、青少年やボランティアの育成等に努めた。

(1) 国際救援・開発協力事業

- ア 北関東四県(埼玉・茨城・栃木・群馬)支部共同支援事業
 - ・ Bangladesh 南部避難民保健医療支援事業への支援
 - ・ Indonesia コミュニティ防災強化事業への支援
- イ NHK海外たすけあいキャンペーンを実施 [12月1日～25日]

(2) 国際交流・派遣事業

- ア 大韓赤十字社京畿道支社との交流事業 [9月24日～27日] 中止
 - ※毎年実施している大韓赤十字社京畿道支社をはじめとした各国赤十字社との交流事業は、新型コロナウイルス感染症による渡航制限により中止とした。代替事業として、大韓赤十字社京畿道支社とのオンライン交流会やプレゼント等の交換を行った。

(3) 消息不明者の安否調査への協力

本社(国際部)からの依頼は0件。

(4) 国際活動関係の研修・会議

国際活動関係業務の推進及び知識・技術の向上を図るため、各種研修会や会議を開催した。

ア 研修会

名称	日程	開催場所等	参加人数等
保健医療ERU導入コース	10月27日	オンライン	支部職員 1人
支部職員対象スキルアップ研修 「国際人道法と日本赤十字社の国際活動」	11月25日・ 12月 2日	埼玉県支部	支部職員 23人
国際人道法セミナー	2月16日～18日	オンライン	支部職員 1人

イ 会議

名称	日程	開催場所等	参加人数等
日本赤十字社北関東四県支部 国際事業担当課長会議	10月25日	オンライン	支部職員 2人

9 看護師養成

令和2年4月に日本赤十字看護大学の宮城キャンパスとして開設された、日本赤十字看護大学さいたま看護学部(運営:学校法人日本赤十字学園)では、日本赤十字社の使命である救援・救護活動を実効的に展開できる看護師を養成している。

今後の医療環境を見通し、未来に向けてリーダーとして役割が果たせる人材育成を目指しており、この運営協力のため、講師派遣及び資金助成(10,000,000円)を行った。

10 赤十字思想の普及、広報活動の充実

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント等の開催に大きな制約があったが、このような状況下にあっても赤十字の理念や活動について、広く県民の理解・協力をいただくために、オンラインツールを活用した新たな広報活動に努めた。

(1) キャンペーン、イベント等の開催・参加

ア 赤十字運動月間におけるイベント

街頭PR活動[5月12日：JR浦和駅東口(さいたま市浦和区)]

JR浦和駅東口において、事業紹介パネル等を用いて、赤十字運動月間開始をPRした。

イ レイクタウンアクトグリーンエコウィーク2021(防災フェス特別版)への参加

[10月2日～3日：イオンレイクタウン(越谷市)]

越谷市、イオンレイクタウンなどが主催するアクトグリーンエコウィーク(防災フェス特別版)に参加し、救援車や救援物資の展示、新型コロナウイルス感染症に関する啓発動画の放映、赤十字事業紹介パネル・災害パネルの展示、募金活動や赤十字事業紹介リーフレット等の配付を行った。

ウ 赤十字活動PRイベントplus献血の開催[11月14日：イオンモール羽生(羽生市)]

主に若年層に対する赤十字活動の周知を図るため、埼玉県赤十字血液センターと共同でPRイベントを開催した。支部は店舗イベントスペースに救急法や防災教育の体験ブース、災害救護用のテントや資機材、避難所で使用されるダンボールベッドやトイレ等の見学ブースを設けるとともに、埼玉県赤十字血液センターは店舗駐車場に献血バス会場を設け献血を実施した。

エ 支部職員派遣による講演

災害救護活動を始めとする赤十字事業に関する講演を行った。

- 大宮ローターアクト 5月16日(日)

オ 第64回殉職救護員追悼式の開催[5月27日：日本赤十字社埼玉県支部]

先の大戦(第2次世界大戦)において殉職された32名の赤十字救護員の御霊に対し、ご遺族、関係者の計43人が出席して、日本赤十字社看護師同方会埼玉県支部との共催で追悼式を開催した。

カ 戦後75年 戦時救護インタビューの本編版(30分Ver)を制作

令和2年に実施した戦時救護班史料展で放映したインタビュー映像(4分Ver)を再編集し、当時の詳細な活動内容や写真等を加え、視聴者により伝わるように30分の本編版を制作した。日本赤十字社内のセミナー等で周知を行い、埼玉県内のみならず赤十字看護大学等にも教材の一つとして利用される予定。

キ その他

例年実施している以下の事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため全て中止することとなった。

- 赤十字ふれあい広場[5月:イオンモール羽生(羽生市)]
- レイクタウン防災フェスへの参加[5月22日~23日:イオンレイクタウン(越谷市)]
- 赤十字PR活動(一日赤十字)[7月~11月:イベント開催地各所]
- 赤十字フェス2021in 浦和 ~そなえる!まもる!防災フェス~
[11月3日:日本赤十字社埼玉県支部(さいたま市浦和区)]
- 浦和区民まつり2021への参加[11月3日:浦和駅周辺(さくら草通り)]

(2) テレビ・新聞等による広報

赤十字会員増強運動月間や防災啓発などを中心に、テレビでスポットCMを以下のとおり放送した。地元新聞紙をはじめ、市町村広報紙に事業の紹介を掲載した。

広報媒体	回数等	備考
テレビ埼玉	30回	5月 15秒:30回
埼玉新聞	2回	5月、9月

(3) 印刷物等の広報資材の作製、配布

名称	作製目的・主な内容	主な配布(視聴)対象
活動資金募集用チラシ (各戸配布用・自治会、町内会回覧用)	赤十字活動のPRと会員募集 (1,141,550部)	一般、地区・分区
振込用紙付きリーフレット	赤十字活動のPRと会員募集 (85,000部)	一般
活動紹介用パンフレット 「赤十字のしくみと活動」	赤十字活動のPRと会員募集 (400部) ※本社作製	一般、地区・分区、 赤十字職員
赤十字運動PRポスター	赤十字活動のPRと会員募集 (16,500枚) ※本社作製	地区・分区、管内施設他
プチャオル	会員募集・イベント時のAED当体験 者に配布など (作製500枚)	一般
クリアファイル	会員募集・イベント配布など (作製1,500枚)	一般
ボールペン	会員募集など (作製600本)	一般
ポケットティッシュ	イベント配布など (作製22,000個)	一般
カットバン	会員募集・イベント配布など (作製3,500個)	一般
日赤さいたま	埼玉県支部広報誌 34,000部 (年2回発行 8月、3月)	一般、赤十字会員、赤十字 ボランティア、赤十字職 員、地区・分区他
赤十字NEWS	日本赤十字社広報紙 (50,000部) ※本社作製	一般、赤十字会員、赤十字 ボランティア、地区・分区、地 域奉仕団委員長他
令和2年度事業報告書	支部事業報告書 (600部)	一般、支部役員・評議員、 地区・分区、管内施設他
令和2年度事業概要	支部事業報告書(詳細版) (PDFのみ作製)	地区・分区、管内施設他
活動紹介DVD	日本赤十字社活動紹介DVD 「赤十字この一年 2021年度」 (10本複製) ※本社作製 データを全地区・分区に提供	地区・分区、管内施設他 ※関係先へ貸出可能

	(DVDについては希望した3地区に提供)	
支部紹介パンフレット「埼玉の赤十字」	赤十字活動のPRと会員募集(43,500部)	一般、地区・分区
赤十字活動紹介DVD	NHK海外たすけあい 活動紹介「バングラデシュ南部避難民に寄り添って～海外救援看護師のルポルタージュ～」	地区・分区、管内施設、一般 ※関係先、一般県民へ提供可能

その他の配布資材：

- 埼玉県赤十字血液センターと協力し、献血ルームや献血バスにおける献血協力者に、赤十字事紹介リーフレットを配布した(43,200部)。
- 赤十字講習受講者に、赤十字事業紹介リーフレットを配布した。
- 領収書発送時に、「活動資金協力御礼チラシ」や「事業紹介チラシ」などを同封し、赤十字活動の周知に努めた。
- 遺贈・相続財産寄付に関する資料請求者に対し、「遺贈・相続財産寄付ご案内パンフレット」を送付するとともに、「赤十字NEWS」や「日赤さいたま」、各種活動報告等を同封した。
- 地区分区を通じて、自治会・町会などの県民に、「赤十字活動報告チラシ」を配布・掲示し、赤十字の活動資金に協力いただいている方々に対し、赤十字活動の報告を行った。
- 令和3年「NHK海外たすけあい」に関し、さいたま放送局における寄付協力者に対して赤十字国際活動(紛争等による避難民への支援や保健医療衛生向上のための活動など)の紹介リーフレット及び「NHK海外たすけあい」協力依頼文書を送付した。

(4) その他の広報

ア 支部ホームページ

日本赤十字社全社統合によるHPを4月1日から開始した。これにより赤十字から発信する情報の多くを一元管理とすることで、閲覧者にとってより情報を得やすい環境を整えた。また、各SNSで発信する情報をHP上にも掲載することで、SNSを利用していない層に対しても情報を届けることや、様々な環境を相互に向上させるように実施した。

イ 支部FacebookページによるPR

災害対応やイベントの告知、実施事業の報告などを支部公式Facebookで発信した。

ウ 支部YouTubeチャンネルによるPR

インターネット上の動画配信サービス「YouTube」を活用し、主に講習普及関連の動画を制作・配信した。暮らしに役立つ情報発信を行ったほか、県民からの要望に応える形で英語版の救急法解説動画を制作した(累計視聴数 78,165回再生)

エ マスメディアへの広報

年間を通じて報道関係機関にプレスリリースを行うとともに、行事の取材を依頼した。リリース件数は5件、報道機関からの露出はテレビ1件、ラジオ1件、新聞4件、インターネット新聞1件。

オ その他

- 赤十字運動月間中(5月1日～31日)に、JR浦和駅にご協力いただき、赤十字活動のPRポスター を掲示した。
- 地区・分区にて懸垂幕を掲げPRを行った。[5月]
- 年間を通じて、市町村及び防災関係機関等が主催するイベント、防災訓練等に参加し、災害救護活動パネルや救援物資等の展示、各種広報資材の配布等を行い、赤十字思想の普及啓発に努めた。
- 赤十字会員増強運動における地区・分区の会議・説明会等に支部職員の派遣を行った。

11 会員増強運動

令和3年度の支部事業の財源となる「会員の増強」及び「活動資金の増収」については、5月を強化月間として、「赤十字会員増強運動」を展開し、その拡大・充実に努めた。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえ、増強運動の実施時期については各市区町村の感染状況等を考慮しながら進めることとなり、募集方法などについての変更も行われた。

地区長・分区長をはじめ、事務委員等関係職員、協賛委員、自治会・町内会の役員、赤十字奉仕団、日本赤十字社埼玉県有功会等の積極的な協力に支えられ、実施することができた。

(1) 活動資金募集実績

令和3年度は、一般社資518,000,000円、法人社資40,000,000円、合計558,000,000円を目標額として、この達成に努力した結果、収納実績額796,060,506円、達成率142.7%となった。

[令和4年3月31日現在()内昨年度比較]

種別		目標額	実績額	達成率
一般	市地区	373,036,900円 (391,689,100)	305,168,896円 (304,485,764)	81.8% (77.7%)
	(郡)地区	26,963,100円 (28,310,900)	35,320,784円 (35,248,421)	131.0% (124.5%)
	特別活動資金 (個人・団体)	118,000,000円 (114,000,000)	382,315,919円 (214,218,022)	324.0% (187.9%)
	小計	518,000,000円 (534,000,000)	722,805,599円 (553,952,207)	139.5% (103.7%)
法人		40,000,000円 (24,000,000)	73,254,907円 (80,630,655)	183.1% (336.0%)
計		558,000,000円 (558,000,000)	796,060,506円 (634,582,862)	142.7% (113.7)

(2) 会員数伸長状況(過去5年間)

(単位:人・社)

区分 年度	会員数(2,000円以上)		協力会員数 (2,000円未満)	
	個人・団体	法人	個人・団体	法人
令和3年度	6,643	2,189	132,404	283
令和2年度	5,991	2,184	125,810	326
令和元年度	4,125	2,106	151,173	582
平成30年度	3,488	1,759	143,447	847
平成29年度	6,333	2,116	146,093	892

(3) 活動資金募集実績額伸長状況(過去5年間)

年度	自治会・町会等		特別社資(個人・団体・法人)		合計	
	金額	伸長率	金額	伸長率	金額	伸長率
令和3年度	340,489,680円	100.2%	455,570,826円	154.5%	796,060,506円	125.5%
令和2年度	339,734,185円	91.9%	294,848,677円	148.4%	634,582,862円	111.6%
令和元年度	369,501,848円	98.3%	198,628,168円	65.8%	568,130,016円	83.8%
平成30年度	375,559,615円	97.9%	301,627,741円	89.7%	677,187,356円	94.0%
平成29年度	383,593,699円	97.2%	336,446,732円	141.4%	720,040,431円	113.8%

(4) 指定事業活動資金・特定寄付金

区分		目標額	実績額	達成率	件数
個人	指定事業活動資金	30,000,000円	30,000,000円	100.0%	65件
法人		20,000,000円	20,000,000円	100.0%	37件
計		50,000,000円	50,000,000円	100.0%	102件

(5) 指定事業活動資金による事業

ア 個人指定事業社資

総務大臣の承認を得て行う個人に対する「指定事業社資」の募集は、65件 30,000,000円(上記(4)参照)の成果をあげた。

この事業資金を基に実施した事業の実績は次のとおりである。

使途内訳	金額	使途内訳	金額
災害救護設備の整備	15,400,000円	災害救護物資の整備	2,800,000円
採血受入機関の整備	0円	救急医療体制の整備	10,000,000円
支部国際活動基金積立金	0円	募集事務費	1,800,000円

イ 法人指定事業社資

財務大臣の承認を得て行う特別事業の財源であり、法人(会社等)に対する「指定事業社資」の募集は、37件 20,000,000円(上記(4)参照)の成果をあげ、計画のとおり実施することができた。

この事業資金を基に実施した事業の実績は次のとおりである。

使途内訳	金額
災害救護設備の整備	18,800,000円
社資募集事務費	1,200,000円

(6) 地区・分区担当職員を対象とした研修会等の開催

ア 地区・分区新任事務委員研修会 [4月:支部]【中止】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、支部での開催は中止し、資料の送付を行った。

<送付内容>

- 地区・分区への依頼事項等
- 令和3年度事業計画書
- 令和3年度埼玉県支部組織図

- 令和3年度赤十字会員増強運動実施資料
- 活動資金の取り扱いについて
- 自治会・町内会以外の活動資金募集方法について
- 赤十字事業に関する資料[赤十字この一年(データ及びDVD)、戦時下の赤十字救護員の体験映像(Youtube配信)]

※赤十字担当職員の手引き(改訂版)及び赤十字の仕組みと活動(令和3年度版冊子)については、事前に郵送等にて配付。

イ 地区・分区事務担当者研修会 [11月11日:Zoomによるオンライン開催]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、WEB会議ツール「Zoom」を使用し、オンライン形式にて開催した。

<研修内容>

① 報告事項

- 令和3年度活動資金募集進捗状況
- 各種義援金・救援金受付状況
- 令和3年度災害救護活動報告
- 令和3年度事業計画書
- 令和3年度埼玉県支部組織図
- 令和3年度赤十字会員増強運動実施資料

② 研修事項「日赤の災害救護活動について」

- 日本赤十字社埼玉県支部の災害救護活動について
- 地区・分区での活動報告について(上尾市地区)
- 地区・分区での活動報告について(鶴ヶ島市地区)
- 地区・分区での活動報告について(毛呂山町分区)

③ 連絡事項

④ 質疑応答

ウ 地区・分区業務主管課長会議 [1月26日:Zoomによるオンライン開催]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、WEB会議ツール「Zoom」を使用し、オンライン形式にて開催した。

<会議内容>

- ① 令和3年度支部事業実施状況
- ② 令和3年度活動資金募集状況
- ③ 令和4年度支部事業計画及び予算(案)
- ④ 令和4年度会員増強運動活動資金募集目標額(案)
- ⑤ 連絡事項

(7) 赤十字会員増強運動地区会議(説明会)への職員派遣 (計18地区、22会場)

地区名	行事名	会場	派遣職員数
さいたま市 自治会連合会	さいたま市自治会連合会理事会	大宮区役所 6階会議室	0人

ふじみ野市	令和3年度日本赤十字社会員増強運動説明会	ふじみ野市役所	0人
草加市	令和3年度日本赤十字社活動資金募集説明会	草加市高砂コミュニティセンター	2人
越谷市	令和3年度赤十字会員増強運動説明会	越谷市中央市民会館	2人
志木市	令和3年度志木市地区協賛委員会	志木市役所	中止
川越市	令和3年度日本赤十字社会員増強運動打ち合わせ会議	川越市保健所	中止
南区	令和3年度さいたま市南区地区運営協議会	南区役所	2人
八潮市	令和3年度赤十字会員増強運動説明会	八潮メセナ	0人
熊谷市	令和3年度赤十字会員増強運動会議	熊谷市緑化センター	2人
羽生市	羽生市社会福祉協議会支部長会	羽生市役所	0人
深谷市	令和3年度深谷市地区運営協議会	深谷市ボランティア交流センター	1人
	令和3年度赤十字活動資金募集会議	深谷公民館	2人
蓮田市	令和3年度日赤会員増強運動説明会	蓮田市役所	中止
東松山市	令和3年度東松山市行政パートナー全体会議	松山市民活動センター	中止
見沼区	令和3年度さいたま市見沼区地区運営協議会	見沼区役所	2人
春日部市	令和3年度日本赤十字社会費説明会	庄和市民センター	2人
新座市	令和3年度日赤新座市協賛委員会総会	新座市役所	中止
所沢市	令和3年度所沢市自治連合会会長会	所沢市役所	1人
	令和3年度松井自治連合会総会	松井まちづくりセンター	1人
	令和3年度富岡自治連合会	富岡まちづくりセンター	1人
和光市	令和3年度日本赤十字社埼玉県支部事業資金募集説明会	和光市福祉総合会館	1人
狭山市	令和3年度赤十字会員増強運動事業説明会	狭山市役所	0人

※派遣人数が「0人」の会場は、新型コロナウイルス感染症による規模の縮小等により、実施はしたが支部職員の派遣依頼がなかった。

(8) 様々な方法による活動資金募集の強化

ア ダイレクトメールの強化

- ① データ会社のリストを利用して、企業代表者・業界・業種・決算月などを選定してのダイレクトメールの送付を実施。
- ② 百貨店のダイレクトメールに振込用紙付きリーフレットを同封した。

イ 活動資金用募金箱の設置の推進

県内法人等に向け、活動資金用募金箱の設置を推進し、法人5件に対し、募金箱を新規に設置した。

ウ 県内の赤十字支援型自動販売機設置の推進

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、東京キリンビバレッジサービス株式会社、アサヒ飲料販売株式会社、株式会社ジャパンビバレッジホールディングス、株式会社伊藤園、FVジャパン株式会社、株式会社八洋、株式会社ユニマツライフ、サントリービバレッジサービス株式会社、ダイドードリンコ株式会社、イオンディライト株式会社、北関東ペプシコーラ販売株式会社及び株式会社サンエ

一の協力を得て普及を推進し、延べ93台(新規1台)の設置となった
(令和3年度実績額 1,419,584円)。

※赤十字支援型自動販売機:売上の一部を赤十字活動資金として寄付するシステム。

エ リサイクル寄付「きしゃぼん」の普及・推進

不要になった本や貴金属、ゲームなどの買い取り額が赤十字活動資金となる「きしゃぼん」を、地区・分区や有功会員等に周知し、寄付方法の周知に努めた。

オ タウンプラス(宛名不要DM)を活用しての赤十字活動のPRおよび活動資金募集を実施

令和4年3月に、狭山市地区と共同でDMハガキを作成。

令和4年4月に狭山市内へ3,100通送付。

カ SDGsを活用した企業との連携を強化

埼玉県SDGsパートナーに登録し、企業との連携した活動資金募集の強化を実施した。

(9)その他

ア 遺言者の遺志による遺贈

遺贈	0件	0円
----	----	----

イ その他の社資募集

銀行口座自動振替	19,031,000円
クレジットカード	26,782,962円

12 日本赤十字社埼玉県有功会

日本赤十字社埼玉県有功会は、昭和47年5月に結成され、現在403人(令和4年3月31日現在)の会員を擁し、会員相互の親睦を図るとともに、各般にわたる支部事業推進の基盤となる財政面での支援を行っている。

令和3年度に実施した事業は次のとおりである。

(1) 特別活動資金募集に対する協力(過去5年間) ※使途指定寄付を含む。

項目 年度	件数	金額
令和3年度	349件	30,950,666円
令和2年度	289件	28,522,741円
令和元年度	299件	32,740,226円
平成30年度	245件	40,904,079円
平成29年度	390件	36,227,273円

(2) 事業等

ア 常任委員会 [令和3年4月23日(金):日本赤十字社埼玉県支部]

- 内 容: ① 令和3年度日本赤十字社埼玉県有功会役員選出(案)について
 ② 令和2年度事業報告及び収支決算報告について
 ③ 令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 ④ 第50回総会の開催について
 ⑤ 第41回海外親善訪問について
 ⑥ 令和3年度国内旅行の実施について

イ 総会 [令和3年6月18日:ホテルブリランテ武蔵野(さいたま市中央区)]【中止】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とし、会員あてに資料を郵送した。

<予定していた内容>

第1部 総会

- ① 令和2年度事業報告及び収支決算報告について
 ② 令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 ③ 令和3年度日本赤十字社埼玉県有功会役員選出

第2部 講演

講演者 講談師 神田すみれ

演 題 埼玉の偉人「渋沢栄一」を知る～渋沢栄一物語(仮題)～

ウ 新春のつどい[令和4年1月20日:ホテルブリランテ武蔵野]【中止】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

<予定していた内容>

第1部 アトラクション マジックショー(マジシャンペル)

第2部 懇親会

- エ 令和3年度日赤紺綬・有功会会長協議会総会 [10月7日～8日:群馬県高崎市]【文書審議】
- オ 令和3年度有功会国内日帰り旅行[10月14日:ひたち海浜公園と那珂湊で海の幸(茨城県)]【中止】
- カ 第41回埼玉県有功会海外親善訪問 [9月:ノルウェー赤十字社他]【中止】
- キ 有功会交流誌の発行
 新型コロナウイルス感染症の影響により、総会、旅行、新春のつどいを始めとする交流の機会が失われていることから、会員の趣味や特技を披露いただき、親睦を図るための交流誌の作成を行った。
- ク 殉職救護員追悼式への供花
- ケ 令和3年度「NHK海外たすけあい」への協力
- コ 慶弔
 叙勲褒章受章者への記念品の贈呈、他界された名の遺徳を偲び、霊前に弔意を表した。

(3) 組織等

ア 主な役員(令和4年3月31日現在)

会長	利根 忠博	
副会長	西島 昭三	田中 憲次郎
会計	中村 昭作	杉田 政男
監事	欠	小野寺 貫一
幹事	森尾 博之	

他常任委員10名

イ 支会

(令和4年3月31日現在)

支会名	結成年月日	会員数	支会名	結成年月日	会員数
所沢市支会	S53.3.13	休会中	蕨市支会	S53.3.31	休会中
秩父市支会	S53.4.17	休会中	川口市支会	S53.7.14	休会中
上尾市支会	S54.3.17	38名	東松山市支会	S54.6.12	休会中
深谷市支会	S59.4.1	53名			

13 評議員会

(1) 評議員会の開催

令和3年度評議員会を次のとおり実施した。

ア 第1回 [令和3年6月15日～25日:文書審議]

第1号議案 令和2年度 日本赤十字社埼玉県支部事業報告及び一般会計歳入歳出決算に関する件

第2号議案 令和2年度 医療施設特別会計歳入歳出決算に関する件

(さいたま・小川・深谷各赤十字社病院)

第3号議案 令和2年度 社会福祉施設特別会計歳入歳出決算に関する件

(特別養護老人ホーム小川ひなた荘・彩華園)

第4号議案 副支部長の退任に伴う選任に関する件

イ 第2回 [令和4年2月3日～9日:文書審議]

第1号議案 令和4年度 日本赤十字社埼玉県支部事業計画(案)及び一般会計歳入歳出予算(案)

第2号議案 令和4年度 医療施設特別会計歳入歳出予算(案)

(さいたま・小川・深谷各赤十字社病院)

第3号議案 令和4年度 社会福祉施設特別会計歳入歳出予算(案)

(特別養護老人ホーム小川ひなた荘・彩華園)

第4号議案 日本赤十字社代議員の選出について

第5号議案 日本赤十字社埼玉県支部監査委員の選出について

Ⅱ 会計報告

1 一般会計

(1) 一般会計歳入歳出決算書

ア 埼玉県支部

歳入		歳出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
社資収入	796,381,506円	災害救護事業費	46,266,421円
委託金等収入	0	社会活動費	80,713,807
補助金及び交付金収入	3,784,403	国際活動費	1,331,780
災害義援金預り金収入	0	指定事業地方振興費	30,321,000
繰入金収入	15,560,199	地区分区交付金支出	56,630,621
資産収入	0	社業振興費	66,041,595
雑収入	4,209,759	基盤整備交付金・補助金支出	52,647,497
前年度繰越金	116,451,984	積立金支出	322,611,783
		総務管理費	93,409,562
		資産取得及び資産管理費	7,587,421
		本社送納金支出	111,909,075
歳入合計	936,387,851	歳出合計	869,470,562
		歳入歳出差引残額 (翌年度繰越金)	66,917,289

2 特別会計

(1)医療施設特別会計歳入歳出決算書

ア さいたま赤十字病院

(ア)収益的収入及び支出

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
医業収益	28,922,968,053円	医業費用	28,988,961,293円
医業外収益	2,767,699,480	医業外費用	303,321,412
医療社会事業収益	465,000	医療奉仕費用	236,692,493
付帯事業収益	0	付帯事業費用	0
特別利益	518,300	特別損失	4,738,500
		法人税等	26,145,204
計	31,691,650,833	計	29,559,858,902
収入支出差引額	2,131,791,931		

(イ)資本的収入及び支出

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
固定負債	386,510,030円	固定資産	659,430,952円
資産売却収入	0	借入金等償還	1,399,196,000
その他資本収入	1,672,116,922		
計	2,058,626,952	計	2,058,626,952
収入支出差引額	0		

イ 小川赤十字病院

(ア)収益的収入及び支出

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
医業収益	5,494,433,679円	医業費用	5,614,611,145円
医業外収益	1,315,616,511	医業外費用	12,668,275
医療社会事業収益	340,666	医療奉仕費用	113,327,927
付帯事業収益	54,997,732	付帯事業費用	57,580,072
特別利益	242,164	特別損失	1,442,754
		法人税等	0
計	6,865,630,752	計	5,799,630,173
収入支出差引額	1,066,000,579		

(イ)資本的収入及び支出

歳入		歳出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
固定負債	32,852,000円	固定資産	50,527,333円
資産売却収入	0	借入金等償還	146,885,859
その他資本収入	164,561,192		
計	197,413,192	計	197,413,192
収入支出差引額	0		

ウ 深谷赤十字病院

(ア)収益的収入及び支出

歳入		歳出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
医業収益	13,435,069,927円	医業費用	13,312,242,183円
医業外収益	1,610,720,150	医業外費用	86,386,600
医療社会事業収益	984,370	医療奉仕費用	139,250,851
付帯事業収益	44,718,371	付帯事業費用	43,195,678
特別利益	1,373,024	特別損失	5,984,953
		法人税等	▲14,913
計	15,092,865,842	計	13,587,045,352
収入支出差引額	1,505,820,490		

(イ)資本的収入及び支出

歳入		歳出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
固定負債	169,566,008円	固定資産	445,564,111円
資産売却収入	0	借入金等償還	355,519,000
その他資本収入	631,517,103		
計	801,083,111	計	801,083,111
収入支出差引額	0		

(2)社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

ア 特別養護老人ホーム小川ひなた荘

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
事業活動による収入		事業活動による支出	
介護保険事業収入	229,128,575円	人件費支出	168,103,714円
経常経費寄附金収入	20,000	事業費支出	40,175,846
その他の収入	88,248	事務費支出	19,513,785
		その他の支出	0
施設整備等による収入		施設整備等による支出	
	0	固定資産取得支出	21,078,376
その他の活動による収入		その他の活動による支出	
他会計繰入金収入	22,950,822	その他の活動による支出	7,810,525
その他の活動による収入	0		
前期末支払資金残高	62,887,203		
計	315,074,848	計	256,682,246
収入支出差引額	58,392,602		

※運営費として2,500,000円助成。

イ 特別養護老人ホーム彩華園

収入		支出	
科目(項)	金額	科目(項)	金額
事業活動による収入		事業活動による支出	
介護保険事業収入	453,156,988円	人件費支出	328,657,796円
経常経費寄附金収入	1,681,000	事業費支出	64,517,250
その他の収入	737,714	事務費支出	62,538,264
		支払利息支出	73,197
施設整備等による収入		施設整備等による支出	
固定資産売却収入	0	固定資産取得支出	8,333,845
		ファイナンス・リース債務の 返済支出	3,247,155
その他の活動による収入		その他の活動による支出	
積立資産取崩し収入	1,158,000	その他の活動による支出	13,566,410
他会計繰入金収入	9,672,469		
その他の活動による収入	7,184,280		
前期末支払資金残高	117,659,444		
計	591,249,895	計	480,933,917
収入支出差引額	110,315,978		

※運営費として9,063,489円助成

Ⅲ 資 料

1 埼玉県支部役職員名簿

(1) 支部役職員 (令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	主な公職
支 部 長	大野 元裕	埼玉県知事
副支部長	原口 和久 古谷 松雄 山崎 達也	埼玉県市長会会長・鴻巣市長 埼玉県町村会会長・杉戸町長 埼玉県福祉部長
監査委員	西島 昭三 小山 彰	元日本赤十字社埼玉県支部副支部長 公認会計士
参 与	横田 淳一 岸田 正寿 坂 行正 芦村 達也	埼玉県福祉部福祉政策課長 埼玉県福祉部高齢者福祉課長 埼玉県保健医療部医療整備課長 埼玉県保健医療部薬務課長

(2) 支部職員 (令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	主な公職	
事務局長	森尾 博之	事務局統括業務	
事務局次長	欠		
調整監	大地山 正明	事務局長補佐	
総務部	総務部長	椎名 泰久	総務部統括
	総務課長	* 部長兼務	評議員会、儀式及び弔意、情報公開、人事労務、職員研修、赤十字標章、広報宣伝
	企画財務課長	梅澤 典弘	事業計画(中期・単年度)、事業報告、出納事務、不動産・物品の管理、活動資金・寄付金・義援金の出納、医療事業、血液事業、社会福祉施設事業、看護師養成事業、施設監査
事業部	事業部長	田沼 憲一	事業部統括
	振興課長		会員募集、活動資金募集、会員管理、有功会、一日赤十字、国内外義援金取扱
	奉仕・青少年課長	永瀬 公彦	赤十字ボランティア(赤十字奉仕団)、青少年赤十字、国際交流事業、国際救援・開発協力事業活動、赤十字防災教育事業、社会福祉事業
	救護・講習課長	村山 卓也	災害救護、救援物資、防災ボランティア、安否調査、安全講習事業、保健指導、臨時救護 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の支援

(3) 本社代議員 (令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	主な公職
代議員	西島 昭三 田中 憲次郎 関根 正昌 利根 忠博 小野寺 貫一 黒瀬 節子	元日本赤十字社埼玉県支部副支部長 会社役員 会社役員 埼玉県経営者協会 名誉会長・日本赤十字社理事(R3.4.1~) 会社役員 赤十字奉仕団 支部指導講師 赤十字奉仕団埼玉県支部委員会副委員長

(4) 評議員

(令和4年3月31日現在)

氏名	主な公職	氏名	主な公職
岡田 悟	馬宮地区社会福祉協議会会長	並木 傑	新座市長
五十嵐光一郎	さいたま市北区地区運営協議会委員	小野 克典	桶川市長
松本 敏雄	さいたま市自治会連合会会長	梅田 修一	久喜市長
村田 博	大砂土東地区社会福祉協議会会長	三宮 幸雄	北本市長
富澤 洋	さいたま市中央区自治会連合会会長	香山 庸子	八潮市健康福祉部長
厚川 修一	さいたま市桜区土合第一自治会連合会会長	星野 光弘	富士見市長
石井 桂太郎	さいたま市浦和区自治会連合会副会長	木津 雅晟	三郷市長
細淵 紀雄	さいたま市南区武蔵浦和地区自治会連合会会長	中野 和信	蓮田市長
鈴木 甫	さいたま市緑区尾間木地区自治会連合会会長	石川 清	坂戸市長
三次 宣夫	さいたま市岩槻区自治会連合会会長	木村 純夫	幸手市長
佐藤 敦弘	川越市社会福祉協議会事務局長	齊藤 芳久	鶴ヶ島市長
近藤 正広	川越市福祉部長	谷ヶ崎 照雄	日高市長
植原 利和	熊谷市福祉部長	中原 恵人	吉川市長
中村 彩子	川口市福祉部長	高畑 博	ふじみ野市長
安藤 森吉	日本赤十字社埼玉県有功会川口市支会長	藤井 栄一郎	白岡市長
福原 智	行田市社会福祉協議会常務理事兼事務局長	大島 清	伊奈町長
北堀 篤	秩父市長	中野 松夫	宮代町社会福祉協議会会長
前田 広子	所沢市福祉部長	古谷 松雄	杉戸町長
岡田 茂穂	会社役員	坂巻 正士	松伏町いきいき福祉課長
新井 重治	飯能市長	林 伊佐雄	三芳町長
石川 雄一	加須市社会福祉協議会常務理事兼事務局長	小峰 孝雄	鳩山町長
木村 登志男	本庄市社会福祉協議会理事	飯島 和夫	川島町長
今村 浩之	東松山市健康福祉部長	大澤 タキ江	長瀨町長
時田 美野吉	春日部市自治会連合会会長	原田 信次	美里町長
鷹野 勝利	狭山市福祉こども部長	矢部 吉春	寄居町社会福祉協議会常務理事兼事務局長
秋山 尚幸	羽生市市民福祉部長	清水 勇人	さいたま市長
高木 啓一	鴻巣市健康福祉部長	村田 俊彦	団体役員
小島 進	深谷市長	二重作 正次	会社役員
石川 孝之	上尾市社会福祉協議会事務局長	斉之平 伸一	団体役員
坂田 幸夫	草加市健康福祉部長	吉川 尚彦	埼玉県生活協同組合連合会 会長理事
小田 大作	越谷市福祉部長	齋木 はな	元 赤十字奉仕団埼玉県支部委員会 委員長
杉本 昭彦	越谷市社会福祉協議会会長	高橋 裕一	埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団委員長
頼高 英雄	蕨市長	立花 洋一	会社役員
菅原 文仁	戸田市長	平本 一郎	会社役員
杉島 理一郎	入間市長	平 匠子	団体役員
松尾 哲	朝霞市社会福祉協議会会長	上木 雄二	埼玉県社会福祉協議会副会長
村上 孝浩	志木市福祉部長	吉田 秀実	埼玉県民生委員・児童委員協議会事務局長
柴崎 光子	和光市長		

定員数75名

2 災害救護資材配備状況

(1) 災害救援車両

ワンボックスタイプ(商用車)	
地区(4地区)	川越市、深谷市、新座市、日高市
ワンボックスタイプ(乗用車)	
地区(3地区)	さいたま市北区、久喜市、吉川市

(2) 地区区分向け災害救護装備・機器(3カ年計画:3年次分)配備先と数量一覧

	地区・分区名	品名	数量
1	さいたま市地区本部	配備なし	—
2	さいたま市西区地区	防寒衣	5
3	さいたま市北区地区	中型救急箱	1
		非接触型体温計	1
		飛沫予防アクリルパネル(卓上式)	5
4	さいたま市大宮区地区	軽量折りたたみ式テント	1
		非常用糞尿処理セット	2
		非接触型体温計	2
5	さいたま市見沼区地区	LPガス発電機・コードリールセット	2
6	さいたま市中央区地区	簡易ベッド	2
		ハンズフリー拡声器	3
		トランシーバー(一対)	2
7	さいたま市桜区地区	天幕(小)	1
		手回し充電式防災ラジオ	4
8	さいたま市浦和区地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		非接触型体温計	4
		飛沫予防アクリルパネル(スタンド式)	1
9	さいたま市南区地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		車椅子	2
		トランシーバー(一対)	1
		LED ランタン	1
10	さいたま市緑区地区	軽量折りたたみ式テント	2
11	さいたま市岩槻区地区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
		非常用糞尿処理セット	3
12	川越市地区	車椅子	16
13	熊谷市地区	車椅子	5
		ブルゾン(リバーシブル)	2
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
14	川口市地区	簡易ベッド	27

15	行田市地区	保管庫	1
16	秩父市地区	プライベートテント	2
		防寒衣	2
		ハンズフリー拡声器	3
		中型救急箱	1
17	所沢市地区	大型扇風機	12
18	飯能市地区	天幕(大)	1
19	加須市地区	配備なし	—
20	本庄市地区	天幕(小)	1
		ブルゾン(春夏用)	10
21	東松山市地区	ブルゾン(春夏用)	2
		トランシーバー(一対)	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
22	春日部市地区	非常用糞尿処理セット	6
23	狭山市地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		ブルゾン(リバーシブル)	6
		非接触型体温計	1
24	羽生市地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		大型扇風機	2
		車椅子	3
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
25	鴻巣市地区	パーティーション	7
		簡易ベッド	2
26	深谷市地区	保管庫	1
27	上尾市地区	天幕(小)	1
		飛沫予防アクリルパネル(卓上式)	11
28	草加市地区	車椅子	12
		LED ランタン	1
29	越谷市地区	軽量折りたたみ式テント	1
		プライベートテント	6
30	蕨市地区	LPガス発電機・コードリールセット	2
31	戸田市地区	トランシーバー(一対)	4
		非接触型体温計	3
32	入間市地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		中型救急箱	1
33	朝霞市地区	パーティーション	1
		大型扇風機	1
34	志木市地区	中型救急箱	7
35	和光市地区	車椅子	2
		非常用糞尿処理セット	3

36	新座市地区	天幕(小)	1
		プライベートテント	3
37	桶川市地区	LP ガス発電機・コードリールセット	2
		ブルゾン(春夏用)	10
		非接触型体温計	1
38	久喜市地区	保管庫	1
39	北本市地区	パーティーション	8
40	八潮市地区	天幕(小)	1
41	富士見市地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		ブルゾン(リバーシブル)	2
		防寒衣	2
42	三郷市地区	簡易ベッド	12
		ブルゾン(リバーシブル)	2
		ブルゾン(春夏用)	2
43	蓮田市地区	大型扇風機	9
44	坂戸市地区	LED ランタン	9
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
45	幸手市地区	LPガス発電機・コードリールセット	1
		パーティーション	2
46	鶴ヶ島市地区	プライベートテント	9
47	日高市地区	LED ランタン	4
48	吉川市地区	ブルゾン(春夏用)	2
		手回し充電式防災ラジオ	2
		LED ランタン	2
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
49	ふじみ野市地区	ブルゾン(春夏用)	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
		非接触型体温計	2
		飛沫予防アクリルパネル(卓上式)	6
50	白岡市地区	LP ガス発電機・コードリールセット	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
51	伊奈町分区	簡易ベッド	4
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
52	三芳町分区	LED ランタン	34
53	毛呂山町分区	天幕(小)	1
		プライベートテント	2
54	越生町分区	プライベートテント	4
		車椅子	2
55	滑川町分区	パーティーション	6
		ブルゾン(リバーシブルタイプ)	2

56	嵐山町分区	LPガス発電機・コードリールセット	1
57	小川町分区	大型扇風機	1
		車椅子	2
		ブルゾン(春夏用)	1
58	川島町分区	LED ランタン	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
59	吉見町分区	ブルゾン(春夏用)	4
60	鳩山町分区	車椅子	2
61	ときがわ町分区	パーティーション	4
		ブルゾン(春夏用)	2
		LED ランタン	10
62	横瀬町分区	大型扇風機	1
		車椅子	1
		非常用糞尿処理セット	1
63	皆野町分区	車椅子	1
64	長瀬町分区	ハンズフリー拡声器	1
		非接触型体温計	1
		飛沫予防アクリルパネル(卓上式)	2
65	小鹿野町分区	保管庫	1
66	東秩父村分区	LED ランタン	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
67	美里町分区	LP ガス発電機・コードリールセット	1
68	神川町分区	簡易ベッド	1
		車椅子	1
		LED ランタン	26
69	上里町分区	LED ランタン	1
		ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	1
70	寄居町分区	天幕(大)	1
71	宮代町分区	ブルゾン(春夏用)	8
		非常用糞尿処理セット	1
		非接触型体温計	3
		飛沫予防アクリルパネル(卓上式)	10
72	杉戸町分区	ポータブル蓄電池・ソーラーパネルセット	2
73	松伏町分区	LED ランタン	1
		LP ガス発電機・コードリールセット	1
		手回し充電式防災ラジオ	1
74	東部中央地区	配備なし	—
75	西部地区	ブルゾン(リバーシブル)	1
		ブルゾン(春夏用)	1
		防寒衣	1

		中型救急箱	1
76	北部地区	非常用糞尿処理セット	2
		非接触型体温計	1
77	秩父地区	配備なし	—

3 救援物資・弔慰金内訳

(1) 小規模災害(火災等)

	地区・分区名	被災世帯数	被災者数	布団	毛布	緊急セット	弔慰金	
							人数	金額
1	さいたま市地区本部	0	0	0	0	0	0	0
2	さいたま市西区地区	0	0	0	0	0	0	0
3	さいたま市北区地区	0	0	0	0	0	0	0
4	さいたま市大宮区地区	0	0	0	0	0	0	0
5	さいたま市見沼区地区	5	12	11	11	4	0	0
6	さいたま市中央区地区	0	0	0	0	0	0	0
7	さいたま市桜区地区	1	1	1	1	1	0	0
8	さいたま市浦和区地区	1	3	3	3	1	0	0
9	さいたま市南区地区	0	0	0	0	0	0	0
10	さいたま市緑区地区	0	0	0	0	0	0	0
11	さいたま市岩槻区地区	9	15	4	4	9	0	0
12	川崎市地区	3	7	8	7	5	3	70,000
13	熊谷市地区	3	8	8	8	3	0	0
14	川口市地区	8	13	35	11	8	7	160,000
15	行田市地区	9	16	15	13	9	0	0
16	秩父市地区	0	0	0	0	0	0	0
17	所沢市地区	5	12	12	12	4	4	90,000
18	飯能市地区	0	0	0	0	0	0	0
19	加須市地区	1	3	3	3	1	0	0
20	本庄市地区	4	6	6	6	4	0	0
21	東松山市地区	0	0	0	0	0	0	0
22	春日部市地区	11	29	27	27	13	2	40,000
23	狭山市地区	4	9	8	9	5	0	0
24	羽生市地区	2	4	3	3	2	1	20,000
25	鴻巣市地区	1	1	1	1	0	0	0
26	深谷市地区	9	22	12	12	10	3	70,000
27	上尾市地区	4	8	8	8	4	2	40,000
28	草加市地区	0	0	0	0	0	0	0
29	越谷市地区	3	3	3	3	0	1	20,000

30	蕨市地区	0	0	0	0	0	0	0
31	戸田市地区	0	0	0	0	0	0	0
32	入間市地区	0	0	0	0	0	1	20,000
33	朝霞市地区	0	0	0	0	0	1	30,000
34	志木市地区	1	2	5	2	11	0	0
35	和光市地区	3	5	5	5	0	0	0
36	新座市地区	2	7	7	7	2	0	0
37	桶川市地区	1	2	1	1	1	0	0
38	久喜市地区	1	3	3	3	1	0	0
39	北本市地区	2	4	4	6	4	0	0
40	八潮市地区	0	0	0	0	0	0	0
41	富士見市地区	4	12	8	4	2	1	30,000
42	ふじみ野市地区	3	6	6	6	1	3	70,000
43	三郷市地区	7	8	2	5	5	2	50,000
44	蓮田市地区	0	0	0	0	0	0	0
45	坂戸市地区	6	6	6	8	6	0	0
46	幸手市地区	13	40	30	37	25	0	0
47	鶴ヶ島市地区	2	5	3	3	2	0	0
48	日高市地区	1	4	4	4	1	0	0
49	吉川市地区	0	0	0	0	0	0	0
50	白岡市地区	8	14	6	9	9	0	0
51	伊奈町分区	0	0	0	0	0	0	0
52	三芳町分区	0	0	0	0	0	0	0
53	毛呂山町分区	4	7	6	6	2	0	0
54	越生町分区	0	0	0	0	0	0	0
55	滑川町分区	0	0	0	0	0	0	0
56	嵐山町分区	0	0	0	0	0	0	0
57	小川町分区	0	0	0	0	0	1	20,000
58	ときがわ町分区	2	3	1	1	2	0	0
59	川島町分区	1	2	2	1	1	0	0
60	吉見町分区	0	0	0	0	0	0	0
61	鳩山町分区	0	0	0	0	0	0	0
62	横瀬町分区	0	0	0	0	0	0	0
63	皆野町分区	0	0	0	0	0	0	0

64	長瀬町分区	0	0	0	0	0	0	0
65	小鹿野町分区	2	6	6	0	1	1	20,000
66	東秩父村分区	0	0	0	0	0	0	0
67	美里町分区	0	0	0	0	0	0	0
68	神川町分区	0	0	0	0	0	1	20,000
69	上里町分区	0	0	0	0	0	0	0
70	寄居町分区	2	6	3	3	1	0	0
71	宮代町分区	1	2	2	2	1	0	0
72	杉戸町分区	0	0	0	0	0	0	0
73	松伏町分区	2	9	5	6	2	2	50,000
74	東部中央地区	0	0	0	0	0	0	0
75	西部地区	0	0	0	0	0	0	0
76	北部地区	0	0	0	0	0	0	0
77	秩父地区	0	0	0	0	0	0	0
合計		151	325	283	261	164	36	820,000

4 臨時救護実施状況

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、臨時救護における救護看護師の派遣事業を見合わせたことにより、令和3年度は実施なし。

5 救急法・健康生活支援講習等講習会実施状況

(1) 救急法

ア 基礎講習

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	4(0)	57(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)
	職域	1(0)	19(0)
	その他	14(0)	243(0)
合計		19(0)	319(0)

イ 救急員養成講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	4(0)	57(0)	57(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)	0(0)
	職域	1(0)	19(0)	19(0)
	その他	0(0)	0(0)	0(0)
合計		5(0)	76(0)	76(0)

ウ 救急員資格継続研修

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)	0(0)
	職域	0(0)	0(0)	0(0)
	その他	0(0)	0(0)	0(0)
合計		0(0)	0(0)	0(0)

エ 短期講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(9)	0(89)
	ボランティア	12(2)	143(18)
一般受講者	学生	61(11)	2,377(454)
	職域	33(53)	329(744)
	その他	6(0)	116(0)
合計		112(75)	2,965(1,305)

(2) 水上安全法

ア 救助員養成講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回		受講者数:人		養成者数:人	
		I	II	I	II	I	II
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	職域	0(0)	0(0)	0(8)	0(0)	0(7)	0(0)
	その他	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

イ 救助員資格継続研修

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)	0(0)
	職域	0(0)	0(0)	0(0)
	その他	0(0)	0(0)	0(0)
合計		0(0)	0(0)	0(0)

ウ 短期講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	4(0)	392(0)
	職域	4(0)	72(0)
	その他	5(0)	62(0)
合計		13(0)	526(0)

(3) 健康生活支援講習

ア 支援員養成講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0 (0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0 (0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0 (0)	0(0)	0(0)
	職域	0 (0)	0(0)	0(0)
	その他	0 (0)	0(0)	0(0)
合計		0 (0)	0(0)	0(0)

イ 支援員資格継続研修

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0 (0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0 (0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0 (0)	0(0)	0(0)
	職域	0 (0)	0(0)	0(0)
	その他	0 (0)	0(0)	0(0)
合計		0 (0)	0(0)	0(0)

ウ 短期講習会(災害時高齢者生活支援講習を含む)

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(5)	0(89)
	ボランティア	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	3(0)	141(0)
	職域	0(1)	0(10)
	その他	5(2)	72(33)
合計		8(8)	213(132)

(4) 幼児安全法

ア 支援員養成講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)	0(0)
	職域	0(0)	0(0)	0(0)
	その他	0(0)	0(0)	0(0)
合計		0(0)	0(0)	0(0)

イ 支援員資格継続研修

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人	養成者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(0)	0(0)	0(0)
	ボランティア	0(0)	0(0)	0(0)
一般受講者	学生	0(0)	0(0)	0(0)
	職域	0(0)	0(0)	0(0)
	その他	0(0)	0(0)	0(0)
合計		0(0)	0(0)	0(0)

ウ 短期講習会

〔()内前年〕

区分		実施回数:回	受講者数:人
赤十字関係受講者	職員	0(3)	0(28)
	ボランティア	6(6)	67(56)
一般受講者	学生	2(15)	24(201)
	職域	20(4)	320(29)
	その他	23(0)	280(0)
合計		51(28)	691(314)

(5) 雪上安全法

開催なし。

6 赤十字奉仕団結成状況及び団員数

(1) 地域奉仕団

(令和4年3月31日現在)

奉仕団名	結成 年月日	団員数 (人)	奉仕団名	結成 年月日	団員数 (人)
さいたま市与野赤十字奉仕団	S45. 4. 1	18	坂戸市赤十字奉仕団	S32. 4. 1	147
さいたま市南区赤十字奉仕団	H17. 4. 1	21	鶴ヶ島市赤十字奉仕団	S60. 5. 22	30
さいたま市岩槻区赤十字奉仕団	S33. 4. 21	20	日高市赤十字奉仕団	S41. 4. 1	246
川越市赤十字奉仕団	S58. 3. 26	54	伊奈町赤十字奉仕団	S53. 11. 10	80
熊谷市赤十字奉仕団	S53. 4. 25	198	三芳町赤十字奉仕団	S31. 12. 1	26
川口市赤十字奉仕団	H 6. 12. 1	598	毛呂山町赤十字奉仕団	S47. 12. 1	124
秩父市赤十字奉仕団	S42. 4. 22	270	越生町赤十字奉仕団	S33. 4. 21	16
所沢市赤十字奉仕団	S47. 4. 1	691	滑川町赤十字奉仕団	S32. 4. 6	101
飯能市赤十字奉仕団	S33. 10. 25	104	嵐山町赤十字奉仕団	S54. 2. 13	37
加須市赤十字奉仕団	S50. 7. 4	108	小川町赤十字奉仕団	H12. 6. 26	172
本庄市赤十字奉仕団	H19. 10. 12	65	ときがわ町赤十字奉仕団	H14. 9. 27	23
東松山市赤十字奉仕団	S32. 4. 19	203	川島町赤十字奉仕団	S26. 9. 10	169
春日部市赤十字奉仕団	S26. 9. 10	101	吉見町赤十字奉仕団	H 7. 8. 23	19
狭山市赤十字奉仕団	S55. 4. 5	39	横瀬町赤十字奉仕団	S46. 4. 1	67
鴻巣市赤十字奉仕団	S25. 10. 19	106	皆野町赤十字奉仕団	S60. 6. 19	80
深谷市赤十字奉仕団	S62. 4. 1	386	長瀨町赤十字奉仕団	S45. 4. 15	113
越谷市赤十字奉仕団	H12. 3. 23	132	小鹿野町赤十字奉仕団	S45. 11. 3	43
蕨市赤十字奉仕団	S24. 4. 14	142	美里町赤十字奉仕団	S28. 6. 3	56
入間市赤十字奉仕団	S24. 6. 1	95	神川町赤十字奉仕団	S42. 10. 7	111
志木市赤十字奉仕団	S56. 5. 18	126	上里町赤十字奉仕団	S25. 10. 5	98
桶川市赤十字奉仕団	S26. 8. 21	24	寄居町赤十字奉仕団	S53. 3. 28	65
久喜市赤十字奉仕団	H 3. 5. 1	56	宮代町赤十字奉仕団	S54. 6. 26	66
富士見市赤十字奉仕団	S29. 4. 1	96	杉戸町赤十字奉仕団	S52. 2. 14	50
ふじみ野市赤十字奉仕団	S47. 5. 10	90	松伏町赤十字奉仕団	S54. 10. 29	35
三郷市赤十字奉仕団	H11. 4. 1	38			

(2) 青年奉仕団

(令和4年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	団員数(人)
埼玉県青少年赤十字卒業生奉仕団	S52. 6.11	14

(3) 特殊奉仕団

(令和4年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	団員数(人)	奉仕団名	結成年月日	団員数(人)
埼玉マジック赤十字奉仕団	S50. 4. 1	8	埼玉県ナース赤十字奉仕団	S61. 5.31	12
SRCHボランティア赤十字奉仕団	S61. 2.19	78	支部援助赤十字奉仕団	H 8. 4.22	11
日赤埼玉水上安全奉仕団	H10. 4.26	122	埼玉県子育て介護赤十字奉仕団	H18.10. 1	42
埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団	H13. 7.12	478	埼玉工業大学赤十字奉仕団	H23. 4. 1	43
埼玉安全赤十字奉仕団	S56. 4.21	138			

7 赤十字奉仕団埼玉県支部委員会名簿

(令和4年3月31日現在)

区分	役職名	氏名	職名
	委員長	岩岡 民枝	所沢市赤十字奉仕団委員長
市	常任委員	森田 照子	春日部市赤十字奉仕団委員長
	委員	井原 弘美	さいたま市与野赤十字奉仕団委員長
	委員	山川 安代	飯能市赤十字奉仕団委員長
	委員	三友 登代	鴻巣市赤十字奉仕団委員長
町・村	委員	長岡 朝子	杉戸町赤十字奉仕団委員長
	委員	菊地 富美子	吉見町赤十字奉仕団委員長
	委員	井田 静江	寄居町赤十字奉仕団委員長
	委員	林 静子	上里町赤十字奉仕団委員長
	委員	新井 和子	長瀨町赤十字奉仕団委員長
市	常任委員	齋藤 貴弘	さいたま市福祉総務課長
	委員	荻野 享	所沢市社会福祉協議会事務局長
	委員	飯口 信彦	春日部市生活支援課長
	委員	竹井 伸次	飯能市地域・生活福祉課長
	委員	服部 和代	鴻巣市福祉課長
町・村	委員	間宮 佐	杉戸町社会福祉協議会事務局長
	委員	石井 宏之	吉見町社会福祉協議会事務局長
	委員	矢部 吉春	寄居町社会福祉協議会事務局長
	委員	石井 里実	上里町社会福祉協議会事務局長
	委員	金澤 裕治	長瀨町社会福祉協議会事務局長
郡	常任委員	西村 憲一	埼玉県秩父福祉事務所所長
	委員	手塚 明正	埼玉県東部中央福祉事務所所長
	委員	茂木 誠一	埼玉県西部福祉事務所所長
	委員	原科 正夫	埼玉県北部福祉事務所所長
	副委員長	黒瀬 節子	支部指導講師
	常任委員	丸山 まゆみ	埼玉安全赤十字奉仕団委員長
	委員	内山 嶺治	埼玉県青年赤十字奉仕団連絡協議会会長

8 青少年赤十字加盟校一覧

(1) 小学校

(令和4年3月31日現在)

さいたま市(39)	さいたま市立大門小学校	熊谷市立桜木小学校
埼玉大学教育学部附属小学校	川越市(19)	熊谷市立新堀小学校
さいたま市立片柳小学校	川越市立川越第一小学校	熊谷市立吉見小学校
さいたま市立文蔵小学校	川越市立中央小学校	熊谷市立市田小学校
さいたま市立東大成小学校	川越市立川越小学校	熊谷市立江南北小学校
さいたま市立大成小学校	川越市立南古谷小学校	川口市(18)
さいたま市立大宮北小学校	川越市立泉小学校	川口市立並木小学校
さいたま市立大宮南小学校	川越市立大東西小学校	川口市立青木中央小学校
さいたま市立大宮小学校	川越市立霞ヶ関小学校	川口市立戸塚南小学校
さいたま市立七里小学校	川越市立広谷小学校	川口市立芝西小学校
さいたま市立岩槻小学校	川越市立高階小学校	川口市立東領家小学校
さいたま市立与野八幡小学校	川越市立高階西小学校	川口市立南鳩ヶ谷小学校
さいたま市立谷田小学校	川越市立月越小学校	川口市立上青木南小学校
さいたま市立見沼小学校	川越市立川越西小学校	川口市立朝日西小学校
さいたま市立道祖土小学校	川越市立寺尾小学校	川口市立十二月田小学校
さいたま市立春野小学校	川越市立芳野小学校	川口市立芝小学校
さいたま市立沼影小学校	川越市立仙波小学校	川口市立上青木小学校
さいたま市立仲町小学校	川越市立新宿小学校	川口市立戸塚小学校
さいたま市立常盤小学校	川越市立高階北小学校	川口市立飯仲小学校
さいたま市立常盤北小学校	川越市立古谷小学校	川口市立鳩ヶ谷小学校
さいたま市立つばさ小学校	川越市立霞ヶ関東小学校	川口市立柳崎小学校
さいたま市立辻南小学校	熊谷市(22)	川口市立芝富士小学校
さいたま市立辻小学校	熊谷市立熊谷西小学校	川口市立安行小学校
さいたま市立田島小学校	熊谷市立玉井小学校	川口市立本町小学校
さいたま市立泰平小学校	熊谷市立中条小学校	行田市(3)
さいたま市立下落合小学校	熊谷市立熊谷南小学校	行田市立中央小学校
さいたま市立指扇北小学校	熊谷市立熊谷東小学校	行田市立須加小学校
さいたま市立上里小学校	熊谷市立石原小学校	行田市立東小学校
さいたま市立大谷口小学校	熊谷市立奈良小学校	秩父市(6)
さいたま市立大戸小学校	熊谷市立成田小学校	秩父市立大田小学校
さいたま市立大久保東小学校	熊谷市立大麻生小学校	秩父市立南小学校
さいたま市立栄和小学校	熊谷市立大幡小学校	秩父市立尾田蔭小学校
さいたま市立大宮東小学校	熊谷市立三尻小学校	秩父市立吉田小学校
さいたま市立大谷場小学校	熊谷市立吉岡小学校	秩父市立秩父第一小学校
さいたま市立大谷場東小学校	熊谷市立佐谷田小学校	秩父市立影森小学校
さいたま市立日進小学校	熊谷市立別府小学校	所沢市(4)
さいたま市立宮原小学校	熊谷市立星宮小学校	所沢市立南小学校
さいたま市立上小小学校	熊谷市立籠原小学校	所沢市立中央小学校
さいたま市立春岡小学校	熊谷市立久下小学校	所沢市立松井小学校

鴻巣市立鴻巣東小学校	越谷市立蒲生南小学校	三郷市(3)
鴻巣市立鴻巣南小学校	越谷市立大袋小学校	三郷市立前間小学校
鴻巣市立屈巣小学校	越谷市立大沢小学校	三郷市立彦郷小学校
鴻巣市立共和小学校	越谷市立南越谷小学校	三郷市立高州小学校
鴻巣市立広田小学校	越谷市立越ヶ谷小学校	蓮田市(0)
鴻巣市立赤見台第一小学校	越谷市立平方小学校	坂戸市(12)
鴻巣市立赤見台第二小学校	越谷市立蒲生小学校	坂戸市立千代田小学校
鴻巣市立下忍小学校	越谷市立大沢北小学校	坂戸市立入西小学校
鴻巣市立吹上小学校	越谷市立花田小学校	坂戸市立三芳野小学校
鴻巣市立常光小学校	越谷市立宮本小学校	坂戸市立坂戸小学校
鴻巣市立松原小学校	越谷市立荻島小学校	坂戸市立片柳小学校
鴻巣市立箕田小学校	越谷市立鷲後小学校	坂戸市立浅羽野小学校
鴻巣市立田間宮小学校	越谷市立東越谷小学校	坂戸市立南小学校
鴻巣市立大芦小学校	越谷市立明正小学校	坂戸市立上谷小学校
鴻巣市立小谷小学校	越谷市立大袋東小学校	坂戸市立勝呂小学校
鴻巣市立馬室小学校	越谷市立千間台小学校	坂戸市立城山小学校
深谷市(4)	越谷市立大相模小学校	坂戸市立大家小学校
深谷市立八基小学校	越谷市立城ノ上小学校	坂戸市立桜小学校
深谷市立川本南小学校	越谷市立蒲生第二小学校	幸手市(3)
深谷市立川本北小学校	越谷市立北越谷小学校	幸手市立上高野小学校
深谷市立上柴西小学校	蕨市(1)	幸手市立幸手小学校
上尾市(14)	蕨市立中央小学校	幸手市立さかえ小学校
上尾市立上尾小学校	戸田市(0)	鶴ヶ島市(8)
上尾市立上平小学校	入間市(1)	鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校
上尾市立芝川小学校	入間市立東金子小学校	鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校
上尾市立平方小学校	朝霞市(0)	鶴ヶ島市立藤小学校
上尾市立大石小学校	志木市(0)	鶴ヶ島市立新町小学校
上尾市立東小学校	和光市(1)	鶴ヶ島市立長久保小学校
上尾市立大石南小学校	和光市立下新倉小学校	鶴ヶ島市立南小学校
上尾市立富士見小学校	新座市(0)	鶴ヶ島市立杉下小学校
上尾市立今泉小学校	桶川市(1)	鶴ヶ島市立栄小学校
上尾市立大谷小学校	桶川市立朝日小学校	日高市(4)
上尾市立平方東小学校	久喜市(1)	日高市立高根小学校
上尾市立大石北小学校	久喜市立青毛小学校	日高市立高麗川小学校
上尾市立瓦葺小学校	北本市(0)	日高市立高萩北小学校
上尾市立東町小学校	八潮市(0)	日高市立高萩小学校
草加市(3)	富士見市(1)	吉川市(1)
草加市立高砂小学校	富士見市立針ヶ谷小学校	吉川市立栄小学校
草加市立八幡小学校	ふじみ野市(2)	白岡市(1)
草加市立瀬崎小学校	ふじみ野市立鶴ヶ丘小学校	白岡市立南小学校
越谷市(20)	ふじみ野市立上野台小学校	伊奈町(1)

寄居町(1)
寄居町立折原小学校
宮代町(0)
杉戸町(0)
松伏町(0)

(2) 中学校

(令和4年3月31日現在)

さいたま市(19)	行田市立忍中学校	鴻巣市立吹上北中学校	越谷市立千間台中学校
さいたま市立大宮南中学校	行田市立西中学校	鴻巣市立吹上中学校	越谷市立平方中学校
さいたま市立桜木中学校	行田市立埼玉中学校	鴻巣市立川里中学校	蕨市(0)
さいたま市立土呂中学校	行田市立南河原中学校	鴻巣市立鴻巣西中学校	戸田市(2)
さいたま市立大宮八幡中学校	行田市立見沼中学校	鴻巣市立鴻巣北中学校	戸田市立笹目中学校
さいたま市立七里中学校	秩父市(2)	深谷市(4)	戸田市立戸田中学校
さいたま市立川通中学校	秩父市立吉田中学校	深谷市立上柴中学校	入間市(0)
さいたま市立馬宮中学校	秩父市立尾田蔭中学校	深谷市立川本中学校	朝霞市(0)
さいたま市立大成中学校	所沢市(0)	深谷市立明戸中学校	志木市(3)
さいたま市立浦和中学校	飯能市(0)	深谷市立豊里中学校	志木市立宗岡中学校
さいたま市立岸中学校	加須市(7)	上尾市(11)	志木市立宗岡第二中学校
さいたま市立八王子中学校	加須市立加須北中学校	上尾市立上平中学校	志木市立志木中学校
さいたま市立南浦和中学校	加須市立昭和中学校	上尾市立南中学校	和光市(2)
さいたま市立美園中学校	加須市立加須西中学校	上尾市立大石中学校	和光市立第二中学校
さいたま市立慈恩寺中学校	加須市立加須東中学校	上尾市立大谷中学校	和光市立大和中学校
さいたま市立常盤中学校	加須市立加須平成中学校	上尾市立大石南中学校	新座市(0)
さいたま市立白幡中学校	加須市立北川辺中学校	上尾市立太平中学校	桶川市(1)
さいたま市立植水中学校	加須市立大利根中学校	上尾市立原市中学校	桶川市立桶川中学校
さいたま市立与野西中学校	本庄市(3)	上尾市立東中学校	久喜市(4)
さいたま市立田島中学校	本庄東高等学校附属中学校	上尾市立瓦葺中学校	久喜市立鷲宮東中学校
川越市(5)	本庄市立本庄南中学校	上尾市立西中学校	久喜市立栗橋東中学校
川越市立初雁中学校	本庄市立本庄西中学校	上尾市立上尾中学校	久喜市立鷲宮中学校
川越市立南古谷中学校	東松山市(1)	草加市(5)	久喜市立久喜東中学校
川越市立芳野中学校	東松山市立北中学校	草加市立栄中学校	北本市(3)
川越市立東中学校	春日部市(6)	草加市立花栗中学校	北本市立宮内中学校
川越市立山田中学校	春日部市立春日部中学校	草加市立瀬崎中学校	北本市立東中学校
熊谷市(4)	春日部市立豊春中学校	草加市立八塚中学校	北本市立北本中学校
熊谷市立荒川中学校	春日部市立緑中学校	草加市立草加中学校	八潮市(2)
熊谷市立玉井中学校	春日部市立東中学校	越谷市(12)	八潮市立八潮中学校
熊谷市立大里中学校	春日部市立飯沼中学校	越谷市立東中学校	八潮市立潮止中学校
熊谷市立三尻中学校	春日部市立春日部南中学校	越谷市立中央中学校	富士見市(2)
川口市(5)	狭山市(1)	越谷市立大相模中学校	富士見市立勝瀬中学校
川口市立西中学校	狭山市立堀兼中学校	越谷市立北中学校	富士見市立本郷中学校
川口市立領家中学校	羽生市(2)	越谷市立西中学校	ふじみ野市(3)
川口市立上青木中学校	羽生市立東中学校	越谷市立北陽中学校	ふじみ野市立大井西中学校
川口市立安行東中学校	羽生市立西中学校	越谷市立大袋中学校	ふじみ野市立福岡中学校
川口市立戸塚中学校	鴻巣市(7)	越谷市立南中学校	ふじみ野市立花の木中学校
行田市(6)	鴻巣市立鴻巣中学校	越谷市立富士中学校	三郷市(1)
行田市立行田中学校	鴻巣市立鴻巣南中学校	越谷市立武蔵野中学校	三郷市立彦糸中学校

蓮田市(1)	嵐山町立菅谷中学校
蓮田市立平野中学校	嵐山町立玉ノ岡中学校
坂戸市(6)	小川町(0)
坂戸市立住吉中学校	ときがわ町(1)
坂戸市立坂戸中学校	ときがわ町立都幾川中学校
坂戸市立若宮中学校	川島町(0)
坂戸市立千代田中学校	吉見町(0)
坂戸市立浅羽野中学校	鳩山町(0)
坂戸市立桜中学校	横瀬町(0)
幸手市(1)	皆野町(0)
幸手市立幸手中学校	長瀬町(1)
鶴ヶ島市(4)	長瀬町立長瀬中学校
鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校	小鹿野町(0)
鶴ヶ島市立西中学校	東秩父村(0)
鶴ヶ島市立藤中学校	美里町(1)
鶴ヶ島市立富士見中学校	美里町立美里中学校
日高市(6)	神川町(0)
日高市立高萩中学校	上里町(0)
日高市立高根中学校	寄居町(0)
日高市立武蔵台中学校	宮代町(2)
日高市立高麗川中学校	宮代町立須賀中学校
日高市立高萩北中学校	宮代町立百間中学校
日高市立高麗中学校	杉戸町(0)
吉川市(0)	松伏町(0)
白岡市(1)	
白岡市立篠津中学校	
伊奈町(2)	
伊奈町立伊奈中学校	
伊奈町立小針中学校	
三芳町(3)	
三芳町立三芳東中学校	
三芳町立藤久保中学校	
三芳町立三芳中学校	
毛呂山町(2)	
毛呂山町立立川角中学校	
毛呂山町立毛呂山中学校	
越生町(1)	
越生町立越生中学校	
滑川町(1)	
滑川町立滑川中学校	
嵐山町(2)	

(3) 高等学校

(令和4年3月31日現在)

さいたま市(9)	深谷市(2)	幸手市(1)
さいたま市立浦和高等学校	埼玉県立深谷第一高等学校	埼玉県立幸手桜高等学校
埼玉県立浦和高等学校	正智深谷高等学校	伊奈町(2)
埼玉県立浦和第一女子高等学校	上尾市(2)	埼玉県立伊奈学園総合高等学校
埼玉県立大宮高等学校	埼玉県立上尾高等学校(定時制課程)	国際学院中学校高等学校
大宮開成高等学校	埼玉県立上尾南高等学校	毛呂山町(1)
KG 高等学院 大宮キャンパス	草加市(2)	埼玉平成高等学校
埼玉県立大宮南高等学校	埼玉県立草加高等学校	越生町(1)
埼玉県立常盤高等学校	埼玉県立草加東高等学校	武蔵越生高等学校
埼玉県立岩槻高等学校	越谷市(4)	滑川町(1)
川越市(6)	埼玉県立越谷南高等学校	埼玉県立滑川総合高等学校
川越市立川越高等学校	埼玉県立越谷東高等学校	嵐山町(1)
埼玉県立川越高等学校	埼玉県立越谷西高等学校	大妻嵐山高等学校
埼玉県立川越初雁高等学校	埼玉県立越ヶ谷高等学校	小川町(1)
埼玉県立川越総合高等学校	蕨市(1)	埼玉県立小川高等学校
山村学園高等学校	武南高等学校	皆野町(1)
埼玉県立川越女子高等学校	入間市(1)	埼玉県立皆野高等学校
熊谷市(1)	埼玉県立入間向陽高等学校	杉戸町(2)
埼玉県立妻沼高等学校	新座市(2)	埼玉県立杉戸高等学校
川口市(2)	埼玉県立新座総合技術高等学校	埼玉県立杉戸農業高等学校
川口市立高等学校	埼玉県立新座柳瀬高等学校	
埼玉県立川口青陵高等学校	桶川市(1)	
加須市(2)	埼玉県立桶川高等学校	
埼玉県立不動岡高等学校	久喜市(4)	
学校法人佐藤栄学園 花咲徳栄高等学校	埼玉県立久喜北陽高等学校	
東松山市(2)	埼玉県立久喜高等学校	
埼玉県立松山高等学校	埼玉県立久喜工業高等学校	
埼玉県立松山女子高等学校	埼玉県立鷺宮高等学校	
春日部市(3)	北本市(1)	
埼玉県立春日部高等学校	埼玉県立北本高等学校	
埼玉県立春日部女子高等学校	八潮市(1)	
埼玉県立春日部東高等学校	埼玉県立八潮高等学校	
羽生市(2)	三郷市(1)	
埼玉県立羽生第一高等学校	埼玉県立三郷高等学校	
埼玉県立誠和福祉高等学校	埼玉県立三郷工業技術高等学校	
鴻巣市(1)	坂戸市(2)	
埼玉県立鴻巣女子高等学校	埼玉県立坂戸西高等学校	
	筑波大学附属坂戸高等学校	

(4) こども赤十字
幼稚園

(令和4年3月31日現在)

さいたま市(12)	加須市立水深幼稚園	入間市(3)
双恵幼稚園	加須市立加須幼稚園	若杉幼稚園
浦和幼稚園	加須市立大桑幼稚園	角栄幼稚園
大宮なみき幼稚園	加須市立礼羽幼稚園	元加治幼稚園
ひばり幼稚園	加須市立不動岡幼稚園	朝霞市(1)
与野愛仕幼稚園	加須市立三俣幼稚園	さいか幼稚園
青いとり幼稚園	本庄市(1)	志木市(2)
むさし幼稚園	若泉幼稚園	志木協会附属泉幼稚園
浦和こぼと幼稚園	東松山市(2)	細田学園幼稚園
福寿幼稚園	松山聖ルカ幼稚園	新座市(2)
染谷幼稚園	東平幼稚園	第二新座幼稚園
白菊幼稚園	春日部市(4)	第一新座幼稚園
岩槻若葉幼稚園	内牧幼稚園	桶川市(2)
川越市(4)	桃園幼稚園	しろがね幼稚園
ひまわり南幼稚園	豊春幼稚園	桶川ときわこども園
ひまわり東幼稚園	一の割幼稚園	八潮市(3)
ひまわり幼稚園	狭山市(3)	小倉あさひ幼稚園
みよしの幼稚園	狭山市立入間川幼稚園	八潮ちくみ幼稚園
熊谷市(4)	狭山市立水富幼稚園	青和幼稚園
妻沼幼稚園	ひかり幼稚園	坂戸市(2)
成田こども園	羽生市(1)	入西幼稚園
熊谷市立江南幼稚園	建福寺幼稚園	坂戸カオル幼稚園
立正幼稚園	上尾市(1)	幸手市(1)
川口市(2)	カオル幼稚園	幸手白百合幼稚園
たちばな幼稚園	草加市(8)	鶴ヶ島市(3)
清月幼稚園	かおり karuna 認定こども園	つくし幼稚園
小桜幼稚園	いなり幼稚園	かみひろや幼稚園
行田市(2)	新田幼稚園	つるがしま白百合幼稚園
ホザナ幼稚園	草加ひまわり幼稚園	ふじみ野市(1)
まつたけ幼稚園	フラワー幼稚園	香取第二幼稚園
所沢市(1)	谷塚おざわ幼稚園	毛呂山町(3)
すずらん幼稚園	草加ひので幼稚園	ながせ幼稚園
飯能市(2)	あずま幼稚園	ときわぎこども園
学校法人 飯能幼稚園	越谷市(4)	あけぼの幼児園
加須市(10)	萩原第一幼稚園	滑川町(1)
加須市立樋遣川幼稚園	南越谷幼稚園	滑川町立滑川幼稚園
加須市立花崎北幼稚園	しらこぼと幼稚園	嵐山町(1)
加須市立志多見幼稚園	北越谷幼稚園	嵐山町立嵐山幼稚園
加須市立大越幼稚園		

保育園

さいたま市(3)	東光保育園
うらわライトハウス保育園	花園第二こども園
いちご南保育園	深谷西保育園
いちご保育園	上尾市(1)
川越市(1)	ころぼっくる第二保育園
芳野保育園	草加市(1)
熊谷市(7)	かおり Putra 保育園
第三なでしこ保育園	富士見市(6)
なでしこ保育園	富士見市立第一保育所
第二なでしこ保育園	富士見市立第六保育所
ことぶきイーサイト保育園	富士見市立第四保育所
熊谷太井保育園	富士見市立第二保育所
ことぶき花ノ木保育園	富士見市立第三保育所
ことぶき乳児保育園	富士見市立第五保育所
行田市(7)	毛呂山町(2)
埼玉保育園	毛呂山町立ゆずの里保育園
和光保育園	毛呂山町立旭台保育園
白鳩保育園	小川町(1)
行田市立持田保育園	小川保育園
太井保育園	
太田保育園	
行田市立南河原保育園	
所沢市(3)	
わかたけ鳩峯保育園	
わかたけ元町保育園	
わかたけ保育園	
本庄市(1)	
こぎくら保育園	
東松山市(3)	
あっぶる幼児園	
のもと保育園	
あびつくこども園	
鴻巣市(1)	
寺谷保育園	
深谷市(7)	
深谷藤沢保育園	
花園保育園	
深谷上柴保育園	
深谷保育園	

9 地区・分区活動資金募集実績額

(1) 市地区

(単位:円)

地区名	依頼額	一般活動資金 実績額	特別活動資金 実績額	合計	達成率	
さいたま市	西区	4,490,300	3,829,268	33,000	3,862,268	86.0%
	北区	8,061,000	5,264,668	41,000	5,305,668	65.8%
	大宮区	6,585,400	5,461,430	80,000	5,541,430	84.1%
	見沼区	8,693,100	5,547,686	31,091	5,578,777	64.2%
	中央区	5,657,900	3,628,404	131,000	3,759,404	66.4%
	桜区	5,800,500	3,678,821	20,000	3,698,821	63.8%
	浦和区	8,528,900	3,499,694	103,000	3,602,694	42.2%
	南区	10,304,900	6,099,607	100,000	6,199,607	60.2%
	緑区	5,851,400	5,273,032	1,026,450	6,299,482	107.7%
	岩槻区	5,968,000	4,656,774	125,000	4,781,774	80.1%
川越市	19,230,400	16,787,056	10,568,000	27,355,056	142.2%	
熊谷市	10,814,800	12,692,694	4,157,000	16,849,694	155.8%	
川口市	32,440,600	19,476,908	1,565,000	21,041,908	64.9%	
行田市	4,449,400	5,756,320	37,000	5,793,320	130.2%	
秩父市	3,495,200	3,271,678	1,589,000	4,860,678	139.1%	
所沢市	19,628,100	10,058,210	1,964,633	12,022,843	61.3%	
飯能市	4,439,300	3,650,883	375,000	4,025,883	90.7%	
加須市	5,806,900	11,415,846	351,000	11,766,846	202.6%	
本庄市	4,539,400	4,492,260	267,000	4,759,260	104.8%	
東松山市	4,942,300	5,322,967	315,000	5,637,967	114.1%	
春日部市	12,980,500	11,080,754	148,007	11,228,761	86.5%	
狭山市	8,613,100	4,049,464	320,123	4,369,587	50.7%	
羽生市	2,853,700	2,963,450	1,130,000	4,093,450	143.4%	
鴻巣市	6,270,800	5,912,974	50,000	5,962,974	95.1%	
深谷市	7,418,800	7,609,011	2,465,000	10,074,011	135.8%	
上尾市	12,333,300	10,403,478	928,000	11,331,478	91.9%	
草加市	14,166,800	10,012,880	226,500	10,239,380	72.3%	
越谷市	18,099,400	13,329,391	250,000	13,579,391	75.0%	
蕨市	4,454,200	3,492,140	461,000	3,953,140	88.8%	
戸田市	7,396,100	5,842,594	310,000	6,152,594	83.2%	
入間市	8,105,000	9,577,222	1,432,952	11,010,174	135.8%	
朝霞市	7,761,300	5,225,842	108,000	5,333,842	68.7%	

地区名	依頼額	一般活動資金 実績額	特別活動資金 実績額	合計	達成率
志木市	3,965,100	3,444,800	0	3,444,800	86.9%
和光市	5,030,000	1,849,778	370,000	2,219,778	44.1%
新座市	9,000,600	6,845,218	1,080,000	7,925,218	88.1%
桶川市	4,011,700	4,058,309	24,000	4,082,309	101.8%
久喜市	8,216,200	8,326,874	111,300	8,438,174	102.7%
北本市	3,699,500	3,304,779	60,000	3,364,779	91.0%
八潮市	4,582,900	4,527,215	140,000	4,667,215	101.8%
富士見市	6,183,400	5,236,089	226,000	5,462,089	88.3%
ふじみ野市	5,979,300	8,166,044	268,000	8,434,044	141.1%
三郷市	7,232,700	6,472,819	1,077,000	7,549,819	104.4%
蓮田市	3,367,200	5,038,344	269,000	5,307,344	157.6%
坂戸市	5,788,600	4,118,163	117,000	4,235,163	73.2%
幸手市	2,863,000	2,977,383	0	2,977,383	104.0%
鶴ヶ島市	3,903,400	2,415,328	227,400	2,642,728	67.7%
日高市	3,050,500	4,833,730	1,063,500	5,897,230	193.3%
吉川市	3,382,000	1,689,375	10,000	1,699,375	50.2%
白岡市	2,600,000	2,501,242	5,000	2,506,242	96.4%
市地区 計	373,036,900	305,168,896	35,756,956	340,925,852	91.4%

(2) (郡)地区

(単位:円)

地区名	依頼額	一般活動資金実 績額	特別活動資金 実績額	合計	達成率
東部中央	8,075,900	7,262,441	612,901	7,875,342	97.5%
西部	12,102,700	18,127,892	744,500	18,872,392	155.9%
北部	4,711,500	7,026,550	787,320	7,813,870	165.8%
秩父	2,073,000	2,903,901	2,039,000	4,942,901	238.4%
(郡)地区 計	26,963,100	35,320,784	4,183,721	39,504,505	146.5%
市・郡 合計	400,000,000	340,489,680	39,940,677	380,430,357	95.1%

(3)町村分区

(単位:円)

分区名	依頼額	一般活動資金実績額	特別活動資金実績額	合計	達成率
【東部中央】					
伊奈町	2,237,300	2,098,890	569,901	2,668,791	119.3%
宮代町	1,861,600	1,650,890	5,000	1,655,890	88.9%
杉戸町	2,429,300	2,171,561	35,000	2,206,561	90.8%
松伏町	1,547,700	1,341,100	3,000	1,344,100	86.8%
【西 部】					
三芳町	2,019,500	2,183,683	380,000	2,563,683	126.9%
毛呂山町	2,190,500	2,305,707	28,000	2,333,707	106.5%
越生町	659,400	1,295,281	30,000	1,325,281	201.0%
滑川町	898,700	2,002,640	90,000	2,092,640	232.9%
嵐山町	974,500	2,122,650	104,000	2,226,650	228.5%
小川町	1,696,300	2,010,665	52,000	2,062,665	121.6%
川島町	1,070,800	1,376,500	20,000	1,396,500	130.4%
吉見町	1,022,100	1,518,800	0	1,518,800	148.6%
鳩山町	780,500	1,166,866	17,500	1,184,366	151.7%
ときがわ町	628,600	1,698,000	23,000	1,721,000	273.8%
東秩父村	161,800	447,100	0	447,100	276.3%
【北 部】					
美里町	541,900	712,900	21,320	734,220	135.5%
神川町	733,500	1,023,800	19,000	1,042,800	142.2%
上里町	1,589,300	2,715,500	16,000	2,731,500	171.9%
寄居町	1,846,800	2,574,350	731,000	3,305,350	179.0%
【秩 父】					
横瀬町	454,200	522,871	944,000	1,466,871	323.0%
皆野町	552,000	987,750	499,000	1,486,750	269.3%
長瀨町	399,300	657,680	596,000	1,253,680	314.0%
小鹿野町	667,500	735,600	0	735,600	110.2%
町村分区 計	26,963,100	35,320,784	4,183,721	39,504,505	146.5%

10 活動資金募集内訳表

(1)一般活動資金

内 訳 1 件あたり金額		会 費		寄付金		個人住民税にかかる指定事業				合 計	
		件数	金額	件数	金額	会費		寄付金		件数	金額
						件数	金額	件数	金額		
1	1千万円以上			5 件	220,000,000 円					5 件	220,000,000 円
2	100 万円以上 1 千万円未満	12 件	14,000,000 円	13 件	28,333,781 円	7 件	9,000,000 円	4 件	11,111,000 円	36 件	62,444,781 円
3	50 万円以上 100 万円未満	9 件	5,147,683 円	4 件	2,389,000 円	7 件	3,600,000 円			20 件	11,136,683 円
4	20 万円以上 50 万円未満	18 件	6,290,095 円	16 件	3,350,000 円	13 件	3,350,000 円			47 件	12,990,095 円
5	10 万円以上 20 万円未満	84 件	10,402,656 円	10 件	1,117,000 円	29 件	2,900,000 円			123 件	14,419,656 円
6	5 万円以上 10 万円未満	167 件	9,202,645 円	2 件	137,243 円					169 件	9,339,888 円
7	3 万円以上 5 万円未満	204 件	9,654,770 円	2 件	68,325 円					206 件	9,723,095 円
8	2 万円以上 3 万円未満	386 件	8,642,570 円	1 件	20,000 円	1 件	20,000 円			388 件	8,682,570 円
9	1 万円以上 2 万円未満	1,874 件	19,132,397 円	8 件	102,313 円	1 件	10,000 円			1,883 件	19,244,710 円
10	5 千円以上 1 万円未満	1,560 件	7,944,841 円	31 件	166,401 円					1,591 件	8,111,242 円
11	3 千円以上 5 千円未満	2,044 件	6,213,204 円	9 件	29,855 円	3 件	9,000 円			2,056 件	6,252,059 円

12	2千円以上 3千円未満	4,244件	8,529,422円	16件	40,953円					4,260件	8,570,375円
13	2千円未満			337,130件	331,882,445円					337,130件	331,882,445円
	合計	10,602件	105,160,283円	337,247件	587,637,316円	61件	18,889,000円	4件	11,111,000円	347,914件	722,797,599円

(2)法人活動資金

内 訳		指定事業法人社資				その他法人社資				合 計	
		会費		寄付金		会費		寄付金			
		1 件あたり金額		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	2 千万円以上										
2	1 千万円以上 2 千万円未満										
3	500 万円以上 1 千万円未満	1 件	5,000,000 円	1 件	5,000,000 円			2 件	10,000,000 円	4 件	20,000,000 円
4	100 万円以上 500 万円未満	3 件	5,000,000 円	1 件	1,000,000 円	3 件	4,000,000 円			7 件	10,000,000 円
5	50 万円以上 100 万円未満	3 件	1,700,000 円			10 件	5,000,000 円	4 件	2,680,326 円	17 件	9,380,326 円
6	20 万円以上 50 万円未満	4 件	950,000 円			16 件	4,051,542 円	5 件	1,265,502 円	25 件	6,267,044 円
7	10 万円以上 20 万円未満	7 件	750,000 円			52 件	5,415,475 円	3 件	300,000 円	62 件	6,465,475 円
8	5 万円以上 10 万円未満	5 件	250,000 円			42 件	2,221,241 円			47 件	2,471,241 円
9	2 万円以上 5 万円未満	12 件	350,000 円			260 件	6,266,021 円	2 件	74,272 円	274 件	6,690,293 円
10	1 万円以上 2 万円未満					879 件	8,984,290 円	2 件	26,806 円	881 件	9,011,096 円

11	5千円以上 1万円未満					338件	1,822,589円	2件	14,545円	340件	1,837,134円
12	2千円以上 5千円未満					398件	1,074,932円	1件	2,300円	399件	1,077,232円
13	2千円未満							68件	63,066円	68件	63,066円
	合計	35件	14,000,000円	2件	6,000,000円	1,998件	38,836,090円	89件	14,426,817円	2,124件	73,262,907円

11 特別社員受章者

種別 \ 区分	個人	法人	合計
紺綬褒章(状)	9件	2件	11件
厚生労働大臣感謝状	14件	2件	16件
社長感謝状	30件	27件	57件
金色有功章	36件	20件	56件
銀色有功章	51件	28件	79件
支部長表彰状	99件	24件	123件
特別社員章	455件	66件	521件

※令和3年度中の寄付に対する件数

12 一日赤十字実施状況

	開催日	行事名	会場
越谷市	5月22日・23日(中止)	レイクタウン防災フェス2021	イオンレイクタウン
行田市	7月4日(中止)	第24回行田蓮まつり	行田市古代蓮の里
越谷市	10月2日・3日	アクトグリーンエコウィーク2021 (防災フェス特別版)	イオンレイクタウン
南区	10月(中止)	第19回南区ふるさとふれあいフェア	浦和競馬場
秩父市	10月(中止)	であいの広場	羊山公園内
所沢市	10月(中止)	第42回所沢市民フェスティバル	所沢航空記念公園
深谷市	10月(中止)	第16回深谷市福祉健康まつり	深谷市総合体育館
越谷市	10月(中止)	第47回越谷市民まつり	越谷市役所周辺
飯能市	中止	飯能市地域防災訓練	飯能市美杉台小学校
羽生市	10月(中止)	第32回羽生市民福祉健康まつり	羽生市民プラザ
浦和区	11月3日(中止)	浦和区民まつり2021	浦和駅周辺
和光市	11月(中止)	2021和光市民まつり	和光市役所周辺
川越市	11月(中止)	つばさ館まつり2021	川越市環境プラザ つばさ館
上尾市	2月(中止)	西上尾第2団地広場防災訓練	西上尾第2団地広場

国際赤十字・赤新月運動の基本原則

The Fundamental Principles of the International Red Cross and Red Crescent Movement
国際赤十字・赤新月運動の基本原則は、第20回赤十字国際会議(1965年[昭和40年]於ウィーン)において宣言された。

この原文では文中の主語が「赤十字は」となっていますが、第25回赤十字国際会議(1986年[昭和61年]於ジュネーブ)では、これを「国際赤十字・赤新月運動は」と改訂し、現在の基本原則が採択された。

人道(Humanity)

国際赤十字・赤新月運動(以下、赤十字・赤新月)は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力、および堅固な平和を助長する。

公平(Impartiality)

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別もしない。赤十字・赤新月は、ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合、もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中立(Neutrality)

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独立(Independence)

赤十字・赤新月は独立である。各国赤十字・赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、つねに赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉仕(Voluntary Service)

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

単一(Unity)

いかなる国にもただ一つの赤十字・赤新月社しかありえない。赤十字・赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性(Universality)

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字・赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

赤十字国際標語一覽

- 1960年（昭和35）赤十字はいつもあなたとともに
1961年（昭和36）赤十字の手は村にも国にも世界にも
1962年（昭和37）美しい心と力をあつめて赤十字は活動する
1963年（昭和38）人道をささえて赤十字100周年
1964年（昭和39）お互いの守りのためにみんなで赤十字をささえよう
1965年（昭和40）若人の胸に赤十字を
1966年（昭和41）世界の赤十字 みんなの赤十字
1967年（昭和42）生命の守りを
1968年（昭和43）赤十字はみんなのしごと
1969年（昭和44）あすに備える赤十字
1970年（昭和45）人間を戦争からまもろう（人道法の実施、普及、発展）
1971年（昭和46）どこへでもいつでも赤十字
1972年（昭和47）赤十字は人道のかけ橋
1973年（昭和48）あなたとあなたの世界に赤十字
1974年（昭和49）いのちを守る赤十字！（救急法、水上安全法、家庭看護法の普及）
1975年（昭和50）赤十字：危急のときのいのち綱
1976年（昭和51）行動する赤十字
1977年（昭和52）人の和を世界に広げる赤十字
1978年（昭和53）参加しよう赤十字
1979年（昭和54）愛の手で世界を結ぶ赤十字
1980年（昭和55）赤十字：みんなのために どこまでも
1981年（昭和56）あなたとともに赤十字
1982年（昭和57）あなたの身近に赤十字
1983年（昭和58）とっさの手当がいちのちを守る！！覚えよう救急法
1984年（昭和59）人道を通じて平和へ
1985年（昭和60）あなたの若さを一赤十字
1986年（昭和61）いのちを救う愛の献血一赤十字
1987年（昭和62）幼い生命に愛の手を一赤十字
1988年（昭和63）伝統を明日への力に一赤十字
1989年（平成1）愛の手を世界に広げる赤十字
1990年（平成2）守ろう！人のいのちと尊さを
1991年（平成3）救おう！災禍にあえぐ人々を ～生命と尊厳を守る赤十字～
1992年（平成4）災害に備えて守る尊い生命一赤十字
1993年（平成5）～2000年（平成12）すべての人々に人間の尊厳を
2001年（平成13）～2004年（平成16）人道は限りない力
2005年（平成17）～2007年（平成19）守ろう人間の尊さを
2008年（平成20）～ 人間を救うのは、人間だ。

皇室と赤十字

皇室と赤十字との関係は、博愛社設立のとき、有栖川宮熾仁親王のご尽力をいただいて以来、深いつながりを持ち続けている。

1912年(明治45年)、昭憲皇太后より赤十字の平事業振興のためにと、国際赤十字に対し10万円の御下賜金があった。更に1934年(昭和9年)、東京で開かれた第15回赤十字国際会議に際して、貞明皇后より10万円の追贈があり、その後1963年(昭和38年)には、皇后陛下より360万円、1968年(昭和43年)には明治100年を記念して100万円の御下賜金をいただいている。

国際赤十字では、昭憲皇太后基金と名づけ、その利子を赤十字平和事業の推進に活用されている。

なお、令和元年度における名誉総裁・名誉副総裁は次のとおりである。

名誉総裁	皇后陛下
名誉副総裁	秋篠宮皇嗣妃殿下
	常陸宮殿下・同妃殿下
	三笠宮妃殿下
	寛仁親王妃信子殿下
	高円宮妃殿下

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

令和3年度 事業概要



〒330-0064さいたま市浦和区岸町3-17-1
TEL 048-789-7117 FAX 048-834-1520
公式ホームページ
<https://www.jrc.or.jp/chapter/saitama>
公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/redcrosssaitama>